

上尾市学校施設更新計画基本計画見直しに係る
市民ワークショップ報告書

令和4年12月

上尾市教育委員会

目次

1. 概要	3
1) 目的	3
2) 開催日程・参加人数	3
3) 開催プログラム	3
4) 意見交換において設定したテーマ	3
2. 意見分析結果	4
1) 全体をとおしての主な意見項目集計	4
2) 意見の概要	5
(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」	5
(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと	10
3. 各地区の意見分析結果	15
1) 上尾地区	15
(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」	15
(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと	20
2) 平方地区	26
(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」	26
(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと	32
3) 原市地区	38
(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」	38
(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと	43
4) 大石地区	48
(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」	48
(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと	52
5) 上平地区	59
(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」	59
(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと	62
6) 大谷地区	66
(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」	66
(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと	69

1. 概要

1) 目的

- ・上尾市学校施設更新計画基本計画（骨子案）の「コンセプトや方向性」、「新しい時代の学びにふさわしい学校づくり」について、市民が重視する項目や分かりづらい項目などを把握し、今後の素案作成のための参考とする。
- ・市民ワークショップの参加者から、新しい学校づくりに求めるニーズを把握する。
- ・市民ワークショップを通じて、立場や背景が異なる参加者同士が、それぞれ多様な意見に触れることにより、相互理解や共通認識の形成が促進される。

2) 開催日程・参加人数

開催日・場所	参加人数		
	①午前の部	②午後の部	計
10/2（日） 大谷公民館	8人	3人	11人
10/10(月・祝) 上尾公民館	16人	7人	23人
10/15(土) 大石公民館	14人	8人	22人
10/16(日) 上平公民館	7人	6人	13人
10/22(土) 平方公民館	15人	11人	26人
10/23(日) 原市公民館	14人	10人	24人
		合計	119人

3) 開催プログラム

- ①「上尾市学校施設更新計画基本計画（骨子案）」の概要説明（約35分）
- ②意見交換（約80分）
- ③全体発表（約25分）

4) 意見交換において設定したテーマ

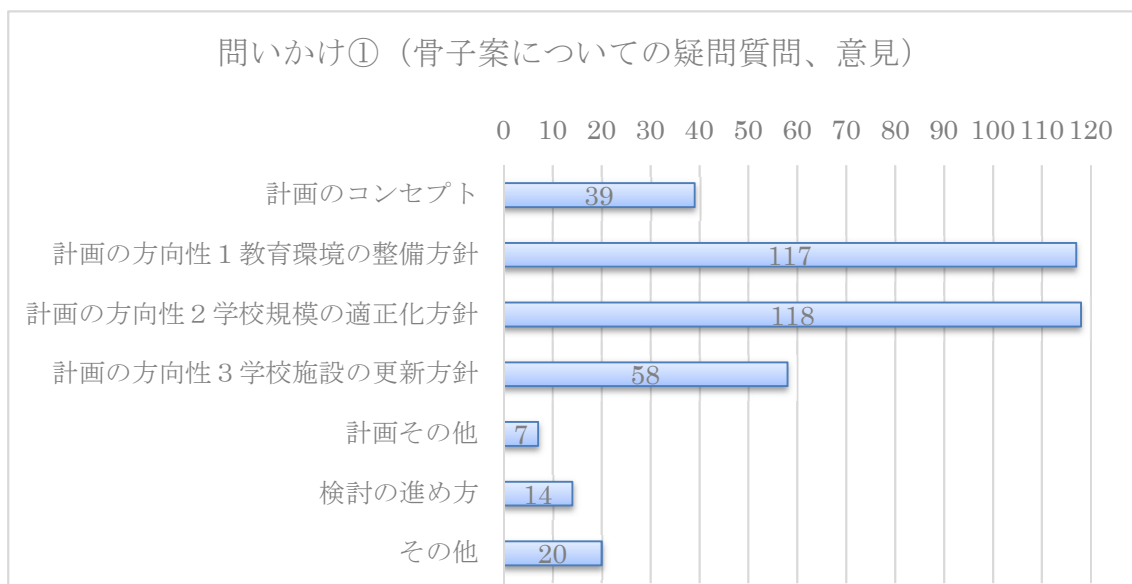
- ・問いかけ① : 上尾市学校施設更新計画基本計画（骨子案）の説明を聞いて、もう一度やもう少し詳細に知りたいことなど。骨子案の内容について感じたことをお聞かせ下さい。
- ・問いかけ② : 「新しい時代の学びにふさわしい学校づくり」に必要なことは何ですか。

2. 意見分析結果

1) 全体をとおしての主な意見項目集計

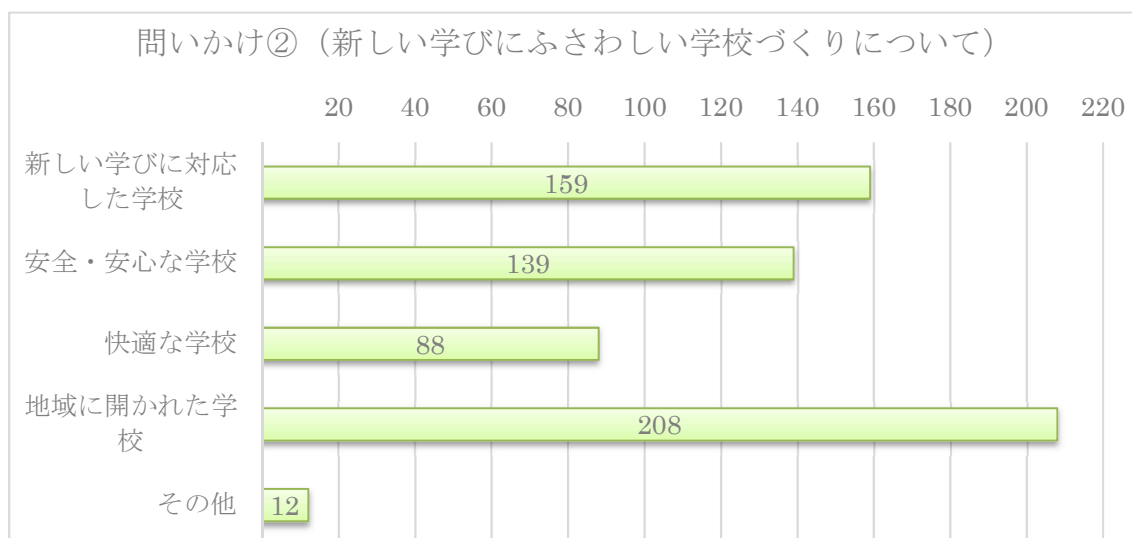
(1) 問いかけ①（骨子案についての意見）

「学校規模の適正化方針」の意見が最も多く、次いで「教育環境の整備方針」、「学校施設の更新方針」、「計画のコンセプト」の順に意見が多かった。



(2) 問いかけ②（新しい時代にふさわしい学校づくりについての意見）

ワークショップでは、主に4つの視点で意見が出されたが、「地域に開かれた学校」の意見が最も多く、次いで「新しい学びに対応した学校」、「安心・安全な学校」、「快適な学校」の順に意見が多かった。

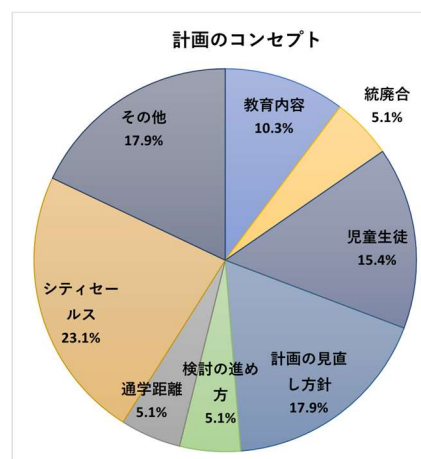


2) 意見の概要

(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」

①計画のコンセプト

計画のコンセプトについて出された意見を見ると、「シティセールス」が最も多く、次いで「計画の見直し方針」、「児童生徒」の順となっている。



ア. シティセールス

●人口増加・地域振興の取り組み

計画策定の背景の一つに少子化があることから、上尾市全体や子供の人口が減少している地区やエリアの魅力を向上させ、転入人口増等により子供の人口を増やすことが必要である。

教育分野での魅力向上策として、「中高一貫校」の設立が有効ではないか。

●地域事情の反映

伝統的に学級数が少ない学校の存在や、学校の立地についての地域の拠点性など、市内を一律に考えるのではなく、各地区の特性に配慮した検討が必要だ。

イ. 計画の見直し方針

ゼロベースでの見直しとの説明を受けたが懸念がある。

施設優先で計画を策定するとあるが、教育内容を優先してほしい。

学校の統廃合と GIGA スクール構想は別の話なので、同じ土俵で議論を行っていることに懸念がある。

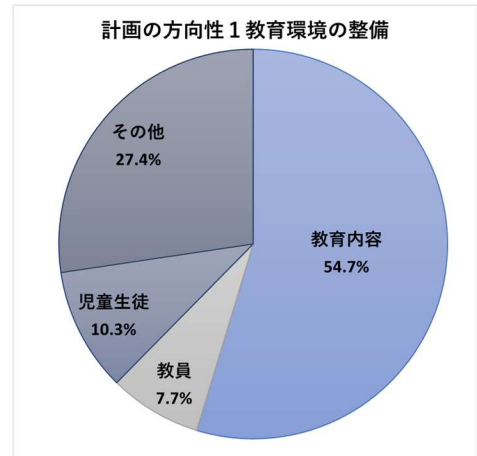
ウ. 児童生徒

(不登校対策)

不登校対策が計画の中に入っていない。計画の中に盛り込んでほしい。

②計画の方向性1「教育環境の整備方針」

計画の方向性1「教育環境の整備方針」について出された意見を見ると、「教育内容」が最も多く、次いで「児童生徒」「教員」の順となっている。「その他」についても意見数の4分の1を占めており、意見が多様であることがうかがえる。



ア. 教育内容

●GIGA スクール

(新たな学習機会の創出)

不登校の子供への学習機会の提供や、他校や外国との交流が期待できる。

(学校間格差)

タブレットの活用やオンライン授業の実施について、教員の力量やPC運用ルールなどに学校間で差があるため、教員の技術力の向上や外部の専門人材の導入、運用ルールなどが学校間で平準化されることが望ましい。

(従来型のスキルの低下)

また、タブレットの活用により、教員、子供の双方の対面でのコミュニケーション能力や、子供の読み書き能力の低下が懸念される。

(ネットトラブル)

子供がインターネットにアクセスする際のセキュリティ対策やネットリテラシー、またSNS利用時のトラブルに対して懸念される。

●小中一貫教育、中一ギャップの解消

(不登校対策)

不登校対策が必要だとの意見が多く出ており、対策の一手法として小中一貫教育が期待できる。

(小中教員の連携への不安)

小学校と中学校の教員が密に連携を取り、中一ギャップ等の課題に対応することが、教員の忙しさ等の理由で本当に可能なのか懸念を感じる。

(困難を越える経験をする機会の喪失)

小学校と中学校の違いを乗り越えることが、実社会での直面する困難に立ち向かう力を養う機会の一つとして、ハードルを全く無くす必要は無い。

(進学による環境の変化が生まれにくい)

小学校でのいじめや不登校といった問題が、環境が変わらないことで中学校にも引き継がれてしまうのではないかと懸念がある。

(小中一貫教育のイメージがわからない)

小中一貫教育の内容や小中一貫校との違いについての説明を求める質問が多く出された。

イ. 児童生徒

●不登校対策

(学習機会の増加)

オンライン授業の実施により、不登校の子供が別室で授業を受けられる機会が生まれる。

(中一ギャップの軽減)

小中一貫教育により、つまずきの大きい中学校入学後のハードルが低くなる。

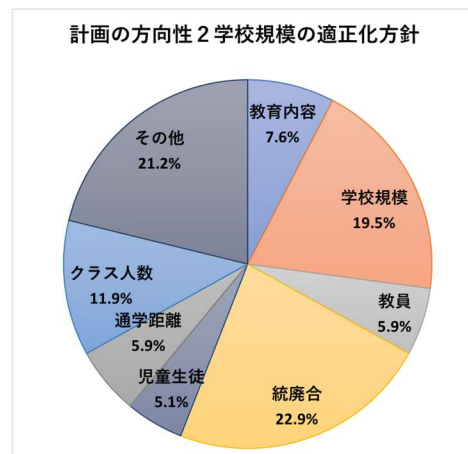
ウ. 教員

教員の負担軽減や、GIGA スクール、「新しい時代の学び」といった新しいスキルが求められる授業が増えたことを受け、教員のスキルアップが必要だ。

③計画の方向性 2 「学校規模の適正化方針」

計画の方向性 2 「学校規模の適正化方針」について出された意見を見ると、「統廃合」が最も多く、次いで「学校規模」「クラス人数」の順となっている。

「その他」についても意見数の 2 割を占めており、意見が多様であることがうかがえる。



ア. 統廃合

(通学方法への配慮、通学時の安全性の確保)

統廃合で通学距離が長くなった場合、通学時間や通学路の安全性に懸念があるため、自転車通学やスクールバスの運行などの配慮が欲しい。

(地域事情の反映)

学校は地域コミュニティの資産であり、1 コミュニティに 1 学校あるべきなのではないか。学校の持つ歴史や地域住民の愛着なども考慮してほしい。

(廃校になった学校敷地・建物の利活用)

統廃合により廃校になった場合の敷地や建物の利活用方法が気になる。売却せずに地域で利用できる資源として活用してほしい。

(通学区域の変更による学級規模の平準化)

学校数を減らすのではなく、通学区域の変更による学級数の平準化を検討すべきではないか。中学校については、通学区域を無くす学校選択制により平準化を図る考え方もあるのではないか。

イ. 学校規模

(クラス替えができる規模)

クラス替えができる規模が確保されるのは、子供のためにも良いことだ。

(適正規模の根拠)

市が示した小中学校の適正規模の学級数は、学校建設の補助金のための法律であり、地域の実情を踏まえての但し書きがある点に配慮していない。

(アンケート結果との乖離)

市が実施したアンケート結果は、市が示した適正規模の学級数の幅よりも狭いので、アンケート結果を基準としてはどうか。

(地区から学校が無くなる可能性)

1学年1学級であっても、地区内から学校が無くなるよりはましである。伝統的に1学年の学級数が少ないので、学級数が少ないことの何が問題なのかが分からない。

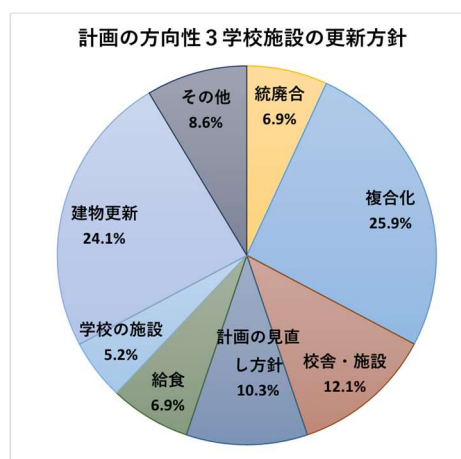
ウ. クラス人数

(少人数学級の推進)

市の掲げる35人学級よりも少人数の学級編成とすべきだ。少人数学級の方が教師の目が行き届きやすい。

④計画の方向性3「学校施設の更新方針」

計画の方向性3「学校施設の更新方針」について出された意見を見ると、「複合化」が最も多く、次いで「建物更新」「校舎・施設」の順となっている。



ア. 複合化

(多世代交流の場としての整備)

公民館や高齢者施設等と学校が複合化されることで、児童生徒と大人世代が交流できる場になるという点で期待できる。

(地域の拠点としての整備)

支所や図書館、公民館など、地域の多くの人々が利用する施設と複合化することで、人が集まる地域の拠点となることが期待できる。

(学校のセキュリティへの懸念)

不特定多数の人が学校敷地内にいることになるため、児童生徒の安全確保に配慮が必要だ。

イ. 建物更新

(学校施設の情報提供の必要性)

地区内の小学校の耐震性や修繕、建替えの時期等についての情報提供が必要だ。

(学校施設の耐震性)

現行の学校建物の耐震性は本当に大丈夫なのか懸念がある。

(建物更新の優先度)

人口の多い地区が優先され、市周辺部の学校は後回しにされるのではないか。

(施設や設備の老朽化対策)

雨漏りや配管の老朽化、床の軋み等の不具合がみられるため、安全になるよう修繕をしてほしい。

ウ. 校舎・施設

●学校施設の共用化・民間施設の利用（プール）

(室内プール利用による授業数の増加)

屋外プールは天候等の理由により、近年授業日数が確保されないため、他校やスイミングスクール等の室内プールを利用することで、授業数が確保される。

(移動時間の増加による授業数の減少)

他校やスイミングスクールへの移動に時間がかかり、授業時間が減ってしまうのではないか。

●学校施設の共用化・民間施設の利用（給食）

(学校給食の継続)

学校給食を何らかの手段で継続してほしい。

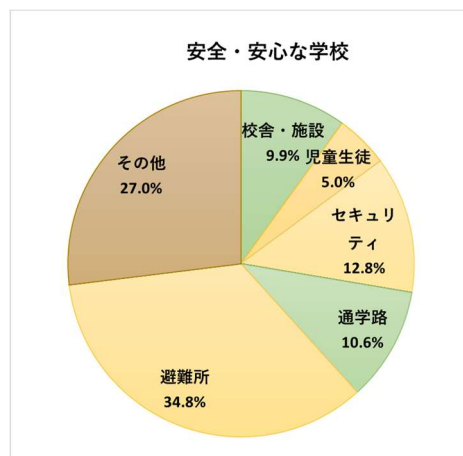
(給食の味やアレルギー対応)

給食は自校式の小学校の方が、センター方式の中学校よりもおいしいので、自校式を継続してほしい。また、自校式の方がアレルギー対応しやすい。

(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと

①安全・安心な学校

「安全・安心な学校」について出された意見を見ると、「避難所」が最も多く、次いで「セキュリティ」、「通学路」の順となっている。



ア. 避難所

(水害対策)

水害時に避難できる拠点として整備すべきだ。

(備蓄)

以前の災害時には備蓄量が足りなかった。地域の人が避難できるだけの備蓄をしてほしい。

(バリアフリーやマイノリティへの配慮などの弱者対策)

体育館が2階以上にある学校は、避難時に高齢者等が体育館に上られるようにバリアフリー化を推進してほしい。

また、女性やマイノリティに配慮した避難所として整備してほしい。

イ. セキュリティ

(子供の安全性の確保)

校内で子供の安全が守られるように、来校者対策（パスの発行、顔認証システムの導入等）を行ってほしい。

また、いじめや子供の校内でのトラブル対応のため、子供にGPSを付ける、校内へのカメラの導入なども検討してほしい。

(複合化した場合の子供の安全性の確保)

学校開放や複合化で授業時間中に校内に不特定多数の人が訪れた場合の、子供の安全確保対策が必要だ。

ウ. 通学路

(通学路の安全性の確保)

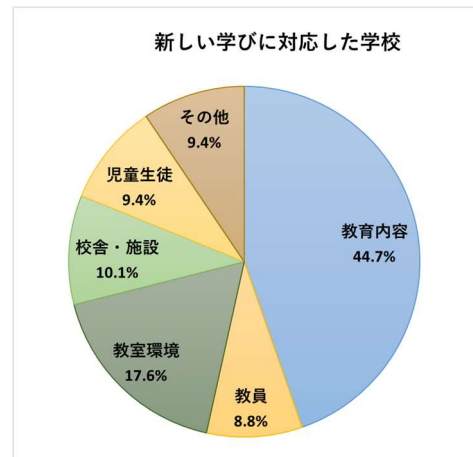
不審者や自動車等の往来などの危険から子供を守れるよう、地域の人による見守りや、防犯カメラ、スクールゾーンの設定等の対策が必要だ。

(通学距離の長さへの対策)

学校からの距離が長い場合に子供が長時間歩かなくてよくなるよう、スクールバスや自転車などの手段が必要だ。

②新しい学びに対応した学校

「新しい学びに対応した学校」について出された意見を見ると、「教育内容」が最も多く、次いで「教育環境」、「校舎・施設」の順となっている。



ア. 教育内容

(新しい教育)

プログラミングなどの時代に合った教育が授業に取り入れられると良い。また、PC以外にも子供の体験や経験につながる授業が大切ではないか。

(地域性を取り入れた教育)

農業など、地域の特性を活かした教育を取り入れても良いのではないか。

(外部の人材の登用)

新しい教育や地域性を取り入れた教育が校内の教員で対応できない場合は、外部の専門家や地域人材による授業を実施しても良いのではないか。

(日本語教育の充実)

英語教育やGIGAスクールよりも日本語教育、読み書き能力の維持の方が重要ではないか。

イ. 教育環境

(可動式の壁のある教室)

授業内容やクラスの人数等に合わせた教室の広さや環境とするために、壁が可動式で可変性のある教室としてはどうか。

開放感のある教室が良いので、教室の壁を可動式としてはどうか。

(学習机や備品の大きさ)

タブレットの導入で机の上に置くものが増え、PCと教科書、ノートを置くには既存の学習机では小さい。机を大きくする、複数人で共有するような大きな机を導入するなど、大きさを再検討してほしい。

荷物が多くなったことで既存のロッカーにも収納が困難になっている。大きさを検討してほしい。

(教室の大きさや机の配置の変更)

新しい学びの導入による環境の変化に対応し、教室の大きさや、机の配列方法などを変えても良いのではないか。

ウ. 校舎・施設

(自習スペース)

放課後などに子供が自習のために使える自習スペースがあると良い。

また、子供がグループで声を出して課題等に取り組めるスペースがあると良い。

(他クラスや他学年と交流できるスペースの設置)

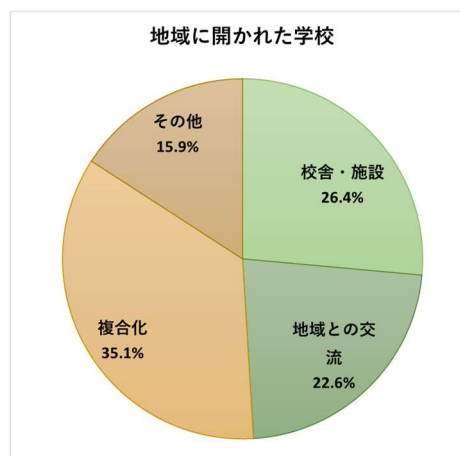
教室以外で他クラスや他学年の児童生徒とちょっとしたコミュニケーションを取れるスペースがあると良い（所属するクラス以外に入室禁止の学校があるため）

(不登校や問題を抱える子供の居場所)

不登校や問題を抱える子供でも学校に通える環境を形成するため、フリースクールや、不登校の子供用のスペースを、校舎内の他の生徒の目線が届かない場所に設置してほしい。

③地域に開かれた学校

「地域に開かれた学校」について出された意見を見ると、「複合化」が最も多く、次いで「校舎・施設」、「地域との交流」の順となっている。



ア. 複合化

(図書館との複合化)

図書館と複合化、又は学校図書館の利用拡大で図書の貸出の利便性が増すので良い。

(公民館、多目的スペースとの複合化)

市民が多目的に使える公民館や多目的スペースがあることで、地域コミュニティや地区内の多様な活動拠点となる。高齢者等の居場所にもつながる。

複合化により地域の多様な人が訪れることになり、地域の拠点としての位置づけが期待できる。

(学童との複合化)

学童が小学校から離れていると、放課後の移動に懸念があるので、学童と複合化できると安心できる。

(子供の見守り)

人が集まる施設との複合化で、施設内や敷地周辺の通学路を利用する人が増え、大人が存在することによる子供の見守りにつながるのではないか。

(高齢者施設との複合化)

高齢者の集まる施設と複合化することで、高齢者と児童生徒の多世代交流につながるのではないかな。

(シェアオフィス等の民間施設との複合化)

起業の拠点となることで、地域活性化や、教育分野のマーケティング、教育への還元につながるのではないかな。

(複合化した場合の子供の安全性確保)【再掲】

学校開放や複合化で授業時間中に校内に不特定多数の人が訪れた場合の、子供の安全確保対策が必要だ。

イ. 校舎・施設

(習い事の間としての活用)

習い事の間として使えると良い。教室などを文化活動団体等が文化活動に使えると良い。

(子供の遊び場としての活用)

公園のようなスペースとして、子供が気軽に遊べる場であると良い。

(駐車場の整備)

地域の人が学校に集まるためには、広い駐車場が必要だ。

ウ. 地域との交流

(地域人材の活用)

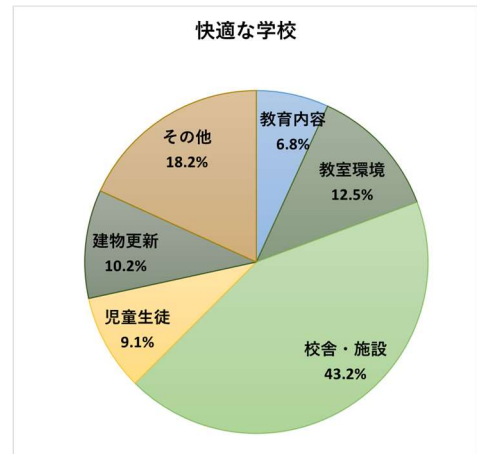
見守りや授業における教員の補助、地域に伝わる伝統技術のレクチャー、部活動の補助、新しい学びの実現などに、地域にいる多様な経験を持つ人材を活用しても良いのではないかな。

(子供の見守り)

登下校時の見守りに、地域の高齢者などの人材を活用しても良いのではないかな。

④快適な学校

「快適な学校」について出された意見を見ると、「校舎・施設」が最も多く、次いで「教室環境」、「建物更新」の順となっている。



ア. 校舎・施設

(自家発電)

太陽光エネルギーを蓄電することにより、平時でも災害時でもエネルギーを自給できると良いのではないかと。

(校舎の内装の木質化)

校舎が病院のようで暗いので、温かみのある木材等を内装に使用してはどうか。

(バリアフリー)

エレベーターの無い学校は、車椅子やけがをした子供の移動に親の付き添いが必要になり負担が大きいため、エレベーターを設置してほしい。

(花壇や樹木、看板等の修繕)

学校の花壇や樹木、敷地内にある看板のメンテナンスが行き届いていない。定期的な手入れが必要だ。

イ. 教室環境

(普通教室以外でのエアコンの設置)

音楽室や調理室などの特別教室や体育館においても、エアコンを完備してほしい。

ウ. 建物更新

(内装での木材使用)

木質化など、木をふんだんに使って温かみのある過ごして気持ちの良い空間にしてほしい。

3. 各地区の意見分析結果

1) 上尾地区

(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」

①計画のコンセプト

GIGA スクールに対する関心が高いことがうかがえ、学習者用端末の活用について意見があった。

【出された意見】

教育内容	GIGA スクール	PC を使ったとしても教育の中身が伴わなければ質は深くない。
教育内容	GIGA スクール	教室内で皆が同じ学びをするというのも学びの質を深める効果があるのではないかな。
教育内容	GIGA スクール	GIGA スクール構想とは言っているが、現場での実践方法やねらいが見えてこない。机など実際使う側への配慮がない。先生もついていけず、使う生徒の方がスキルが高いところもある。
教育内容	ソフトの視点	今の状況を子供から聞いても見えてこない、先生も忙しすぎて、報酬や待遇も良くないなかで、現在のプランを実現するのはハードではなく人やソフトだと思う。
計画の見直し方針	主要な問題	計画に記載されている主要な問題が少子化だけなのが懸念される。
計画の見直し方針	構成	GIGA スクール構想と学校統廃合まったく別の話。それらが同じ計画に示されていることに違和感がある。
検討の進め方	情報提供	現状、いろいろなニーズがあることに驚いている。
児童生徒	不登校対策	不登校の問題を計画の中に明記するべき。
アンケート	生徒と教員	先生と生徒の意見の違いが大きいことが問題なのではないかな。

②計画の方向性1「教育環境の整備方針」

GIGA スクールでは、オンライン授業、教員の負担やスキルについての意見があった。

小中一貫教育については、是非よりも内容がイメージできないという意見があった。

【出された意見】

教育内容	GIGA スクール	オンライン授業が取り入れられているという説明だったが、我が子の学校ではその実感が無い。学校によって差があるのではないかと学校格差ができないようにしてほしい。
教育内容	GIGA スクール	生徒1人1台PCがあり、休んだ子供に対して授業が受けられると説明があったが、学校によって対応している所としていない所があるようなので、学校格差ができないようにしてほしい。
教育内容	GIGA スクール	富士見小など、モデル校ばかり教育環境が整備されると学校格差が広がってしまうのではないかと。
教育内容	GIGA スクール	我が子が中央小（モデル校）だがオンライン授業もないし、配信もない。
教育内容	GIGA スクール	オンライン授業自体はよいと思うが、先生方の負担がさらに増えているのではないかと心配。先生方の負担を減らす方策も必要だと思う。
教育内容	GIGA スクール	今日の説明では、なぜICTを導入するのか、その目的が伝わってこなかったため、明確にして欲しい。
教育内容	GIGA スクール	PCを使ったとしても教育の中身が伴わなければ質は深くない。
教育内容	GIGA スクール	GIGA スクールに対応する具体的な設備として、どのようなものがあるのかイメージできない。
教育内容	GIGA スクール	ICT教育というがZoomの操作もおぼつかない先生もいる。教育の質を確保できるのか懸念がある。
教育内容	GIGA スクール	GIGA スクール構想で、自分で考える力が育まれることが重要だ。
教育内容	GIGA スクール	GIGA スクール構想で、遠隔地と気軽に交流ができることが大事だ。
教育内容	学習者用端末	端末を家で充電させるだけのために毎日持ち帰っているのが納得いかない。毎日持ち帰ることで破損などが心配だ。
教育内容	新しい教育	現代に合った教育とは何かを知りたい。男女の差を無くすことか、障害児への理解を促進することか、交流の具体案が必要だ。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育の定義がわからない。小中一貫校のことなら詳しく説明すべき。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫を検討するのであれば、メリットだけでなくデメリットもきちんと示すべき。

教員	スキルアップ	ハード面の計画だけでなく、教員スキルなど教える力の向上に資する計画も重要。
教員	スキルアップ	施設（ハード）に関する内容だけでなく、教育（ソフト）に関する内容も本計画に盛り込めないか。
校舎・施設	学校開放	今は子供が放課後学校で遊べないのに、地域開放と言うことは、子供の遊び場としても開放されることを意味しているのか。
学校の施設	共用化・民間施設の利用	そもそも財産はあるのに経費削減のためにプールや自校式給食をなくす必要はない。
学校の施設	共用化・民間施設の利用	経費削減案でプール共有化は無理。自校プールを維持してほしい。
学校の施設	共用化・民間施設の利用	授業を受けるときに、他校へ移動するとなるとどのように移動し、その移動時間によって授業時間が減ってしまわないか。効果の最大化と言うことをどう見るのか。
複合化	地域拠点	元気な高齢者などが活躍する場として、学校の地域拠点化に期待したい。

③計画の方向性 2 「学校規模の適正化方針」

学校規模や統廃合に対する考え方や、少人数学級について意見があった。

【出された意見】

学校規模	学級数	アンケート結果を汲むのであれば、学級数は小学校 7～18 学級、中学校 9～18 学級で計画を立てるべき。
学校規模	学級数	統廃合の根拠となる学級数に特別支援学級を入れると、対象となる学校数が減るので、特別支援学級数も加味した算出をすべきだ。
学校規模	教員	学校規模が適正化しても、サポートしてくれる教員が十分確保できるようにしてほしい。
学校規模	地域事情の反映	学級数でバツサリ統廃合を決めるのではなく、地域の実情に配慮した統廃合のあり方を検討してほしい。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫を考えるのであれば、先生と生徒の対話がきちんとできるようにしてほしい。
クラス人数	少人数学級	クラス数よりもクラスの人数を少人数制にする方が良い。
クラス人数	少人数学級	地域独自のアンケートでは 30 人のクラスが望まれている。35 人ではなく 30 人クラスで計画してほしい。
シティセールス	人口増加施策	生徒が減少していることの説明は理解するが、生徒が減らないようにする方策を人口減少の対策と合わせて考える必要があるのではないか。

児童生徒	他学年との交流	学童で他学年と交流しているが、学校でも他学年との交流が必要だ。
通学路	安全確保	学校を統廃合する場合は、登下校時の通学路の安全確保が必要だ。
統廃合	他自治体事例	同じような規模の先進例をみて検討するのがよいと思う。

④計画の方向性3「学校施設の更新方針」

建物の安全性や自校式の給食を望む意見があった。

また、学校が地域コミュニティ活動の拠点となる一方、セキュリティ面での懸念があるという意見があった。

【出された意見】

建物更新	耐震	耐震診断を行っても、その後急に耐震上の理由で建物が閉鎖になることもある。定期的に診断を実施することが必要だ。
建物更新	耐震	耐震化を推進することが大切だ。
校舎・施設	空調設備	調理室などにエアコンが必要だ。火を使うので使用中に暑くなる。
給食	自校式	給食は自校式の方がおいしいので自校式が良い。
給食	自校式	小学校の自校式給食を維持してほしい。できれば中学校も自校式に。
給食	自校式	アレルギーへの融通が利くのは自校式なので、自校式としてほしい
地域の拠点	コミュニティ活動	学校が、地域の人たちが連携・協働できる、地域コミュニティ活動の拠点となると良い。
複合化	セキュリティ	他の施設との複合化をすると学校関係者以外の方が日常的に出入りすることになるので、学校施設部分のセキュリティに配慮が必要だ。

⑤その他

計画見直しの進め方に関する意見があった。

【出された意見】

計画の見直し方針	計画の見直し期間	計画の見直しまでの期間が長すぎる。5年くらいでよいのでは。
計画の見直し方針	用語	安全・安心の定義とは。バリアフリー。
計画の見直し方針	用語	持続可能。何を持続させるのか。
計画の見直し方針	アンケート結果の反映	アンケート結果と骨子の内容、一部結びつかない部分があることが気になる。
検討の進め方	市民意見の反映	市民の意見を聞きっぱなしにせず、今後の検討に生かしてほしい。
検討の進め方	情報提供	子供たちや保護者が「私たちの学校が無くなるかもしれない」などと不安に思わずに過ごせる検討方法が必要だ。
アンケート	目的	アンケートの目的が市民に伝わっておらず、内容もボリュームがあったので回答が少なかったのではないか。アンケートの目的や位置付けをわかりやすく書いておけば、その重要性が伝わり回答数も増えたのではないか。
特別支援学級	—	特別支援学級に通う子の通学先を事前に親と調整してくれなかったため、子供は自力で通学できていない。配慮が欲しい。
その他	講演会	講演会の講師は市民目線に立った人の方が良かった。

(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと

①安全・安心な学校

学校施設のバリアフリーや安全性、防犯対策への意見があった。

避難所について備蓄の充実や情報発信、マイノリティへの配慮の意見があった。

【出された意見】

校舎・施設	居場所	何かあったとき、生徒が逃げ込む・頼りにできる場所になってほしい
校舎・施設	学校開放	「防犯対策」と「開かれた学校」の両立。
校舎・施設	いじめ対応	いじめが起きにくい開放的なつくり。
校舎・施設	バリアフリー	校舎の各棟にエレベーターが設置されていると良い。
校舎・施設	バリアフリー	インクルーシブ教育として、バリアフリーやエレベーター、多目的トイレ等が設置されていると良い。
給食	自校式	食の安全のため小中全校での自校式給食の実施。
セキュリティ	防犯グッズ	生徒に「GPS」バッジをつける。
セキュリティ	防犯対策	防犯の安心安全確保として、学校の周辺で不審者などが出た場合は、校舎に入り込まないように玄関の扉をいつでも施錠できるようにしてほしい。
地域との交流	見守り	地域住民の協力による「安全な学校」と「開かれた学校」の両立
通学距離	通学方法	スクールバスの導入。
通学距離	安全性	安全に通学できる通学路・距離の検討。
通学距離	徒歩通学	通学距離を小学生が徒歩で通える距離とすべきだ。
避難所	コロナ対策	コロナで避難所の受け入れ人数が減っており、対策が必要だ。
避難所	災害用トイレ	防災機能の強化として、地域の人が避難できるだけの備蓄や災害用トイレが整備されていると良い。
避難所	水害時	水害時にも避難できる避難所として整備してほしい。
避難所	備蓄	防災機能の強化として、地域の人が避難できるだけの備蓄や災害用トイレが整備されていると良い。
避難所	防災倉庫	防災の安心安全として、学校内の防災倉庫のありかを先生も子供も知っておくことが大切だと思う。おそらく知らないのではないかな。
避難所	ミサイル対応	最近ミサイル発射にあたって、窓のないところへ避難をというが、学校は窓だらけで避難できる場所がない。避難できるように地下シェルターなど設置するように考えられているか。シャッターをつけるなど、既存の校舎につける対応策なども考えてほしい。
避難所	マイノリティへの配慮	避難所として女性やマイノリティの方へ配慮した内容。
避難所	学校施設	学校は地域の避難所であり、避難所を維持することが必要だ。
避難所	学校施設	学校を避難所として使えるようにしてほしい。

避難所	防災教育	防災の安心安全として、防災倉庫になる防災グッズの使い方を子供たちに教えて、いざという時には、子供たちが地域住民に使い方を教えられるようにしておくのが良いと思う。
-----	------	--

②新しい学びに対応した学校

GIGA スクールや ICT 教育に関しては、学習者用端末の使い方や外部人材導入の意見があった。

また、他学年と交流ができるスペースを望む意見があった。

【出された意見】

教育内容	GIGA スクール	キーボードばかりだと、子供が文字を書けなくなる。
教育内容	GIGA スクール	ICT の安全教育が必要。
教育内容	GIGA スクール	個人向けの教育が進む。
教育内容	GIGA スクール	学校が存在する理由が無くなっていく。
教育内容	GIGA スクール	一台 PC の使い勝手の向上が必要。
教育内容	ICT 教育	ICT 教育に民間を導入し、教えられる先生の人材不足を補ってほしい。
教育内容	ICT 教育	ICT 教育に民間を導入することで、先生方の意識改革にもつながるのではないか。
教育内容	新しい学び	新しい学びとは、IT だけではないだろう。社会のエキスパートになる。健康管理。保護者の理解を深める。等
教育内容	新しい学び	「新しい学びとは何か」が明確に示されておらず、イメージがしづらい。
教育内容	教員と児童の交流	小学校でもいろいろな先生と接する機会が増えると良い。
教育内容	高等教育との連携	大学と連携したプログラムの実施。
教育内容	個性にあった教育	個人の能力や個性に合った教育をして欲しい。
教育内容	習熟度対応	塾に行かなくてもいいような、習熟度別の学習ができるようにしてほしい。
教育内容	習熟度対応	自習室のような習熟度別に対応してほしい。
教育内容	小中一貫教育	一貫教育で必要なのは小中ではなく中高なのではないか。受験組は中学校は私学に行くので小中一貫が生かせないのではないか。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫になることで、中学の先生に教えてもらったり、意見交換ができると良い。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫 子供たちの交流が大事。

教育内容	—	生徒のメンタルが強くなるような授業内容。
教員	スキルアップ	ICT 教育に民間を導入し、まず先生方に教えるということをして、先生方のスキルアップをはかることをしてはどうか。
教員	スキルアップ	教員にも新しい学びに対応できるようにするための教育が必要だ
教員	休憩スペース	教職員が職員室以外でリラックスして休憩できるスペースを設置してはどうか。
教室環境	学習机	GIGA スクールではタブレットは提供されているが、教科書やノート、筆記具などと一緒に置くのは大変。現在では、タブレットを置く溝がついたエクステンションデスクカバーなども開発されている。子供が学びやすい環境整備を。
教室環境	学習者用端末	GIGA スクール構想で、タブレットは支給されても、壊れたときの修理費用や体制が整っていない市町村もあると聞く。サポート体制も同時にしっかり整えてほしい。
教室環境	普通教室	学校としての集団学習とは別に個の興味関心に沿って学習できる環境を整えるには、オフィスのようなフリーアドレスなどもできると良い。柔軟なスタイルで学べる環境を整えてほしい。
クラスの人数	少人数学級	1 学級の人数は 30 人以下が望ましい。
クラスの人数	少人数学級	小 1 小 2 の 30 人学級を復活してほしい。
計画の見直し方針	他自治体事例	目指す姿として具体的なモデル校はあるか。保護者にはどんな学校を目指しているのか見づらいので、1 つの学校にまとめなくても良いので、将来像が目に見えると理解しやすい。
校舎・施設	外部の人との交流スペース	児童生徒と外部の人が一緒に居られて交流ができる場所があると良い。
校舎・施設	学校開放	外部の人が立ち入る場合はセキュリティに配慮が必要。
校舎・施設	多様性への対応	トイレなど、ジェンダーフリーに対応した施設整備が必要だ。
校舎・施設	多様性への対応	ダイバーシティ（多様性）を受け入れるための設備。
校舎・施設	交流スペース	教室内は他クラスの子は立ち入り禁止のため、他学年と交流できる広場にテーブルがあるようなスペースがあると良い。
校舎・施設	交流スペース	異なった学年の子供たちが交流できるフリースペースが欲しい。
児童生徒	カウンセラー	さわやか相談室の開放。
児童生徒	習熟度対応	学校の授業のあり方が合わずに苦しんでいる子がいるので、習熟度に合わせた学びの選択など、一律でない学校のあり方を検討してほしい。
地域との交流	管理	子供と地域の人が花壇や畑を一緒に手入れできると良い。
統廃合	教員確保	小中一貫や統廃合になっても、先生は十分確保してほしい。教員の確保は投資にもなる。

③地域に開かれた学校

学校開放や複合化については肯定的な意見だが、児童生徒の安全確保が前提条件となっている。

地域の人々との交流についても前向きな意見が多い。

【出された意見】

教育内容	地域の特性	地域性、多様性を重視した教育にして欲しい。
校舎・施設	学校開放	校庭をスポーツ公園に。
校舎・施設	学校開放	学校と一緒に地域に開かれた施設があるのは良いと思うが、その管理を学校の先生が行うのは無理だと思うので、そこを考える必要があると思う。
校舎・施設	学校開放	地域に開かれた学校という考え方は良いと思うが、昨今の事件などを考えると、防犯的な心配の方が先に立つ。防犯対策をしっかり行なう必要があると思う。
校舎・施設	学校開放	開かれた学校と子供たちの安全の両立が課題だ。
校舎・施設	学校開放	地域に開かれるのは良いが、不特定多数の人が学校に立ち入ること、池田小学校のような犯罪が起きないように工夫をしてほしい。
校舎・施設	学校開放	多少危険でも、地域に公開された学校であるべき。
校舎・施設	学校開放	体育館や校庭が開放されているのは良いことだ。
シティセールス	地域振興	学校があることがその地区への転居の動機となる。学校が無いと地域に人が転入せず活性化されない。
セキュリティ	不審者対応	セキュリティ強化。不審者への対応（警察やセコム）。
地域との交流	活動拠点	地域サークルの活動の場としての学校をなくしたくない。
地域との交流	人材の活用	今のままで複合化は教員の負担が増えるばかり。地域の人々が学校の運営に係るようにする。
地域との交流	人材の活用	学校の管理を地域社会で。
地域との交流	人材の活用	地域の人材の参画。
地域との交流	人材の活用	教材作りも地域で。
地域との交流	人材の活用	教員の負担軽減「楽に」。
地域との交流	人材の活用	学校の授業で教えられるような専門知識を持ったボランティアを地域の人から募集してはどうか。
統廃合	旧校舎の活用	複合化は土地をまとめるということか。余った土地は。
複合化	学童保育所	学童保育との連携。
複合化	考え方	全部の施設を複合化するのではなく、分散化も必要。
複合化	考え方	複合化への具体的な計画が見えない。

複合化	管理方法	学校の複合化を行うための人材は確保できるのか。具体的な方法は。
複合化	公民館	地域コミュニティが使える施設が入り、公民館で行っているようなお祭りやイベントが行えると良い。
複合化	交流スペース	学校に行くと顔見知りが増えるような場が形成されると良い。
複合化	高齢者施設	学校に老人ホームを併設して、子供と高齢者が交流できる場となると良い。
複合化	こども食堂	こども食堂が学校に併設されることで、朝ご飯を食べて学校生活のスタートを切れると良い。
複合化	児童館	児童館が市内に2か所しかないので、学校に併設されると移動時の子供の安全が確保される。
複合化	セキュリティ	複合化に伴う防犯上の問題を解決する必要がある。
複合化	図書館	図書館が学校と一緒にあるのは良い。本の寄贈もできたりすると良いのではないか。
複合化	図書館	子供たちがどんな本を読んでいるのかを知りたいので、図書館が学校と一緒にするのは良いと思う。
複合化	図書館	図書館を各学区に設置し、充実して欲しい。
複合化	図書館	市立図書館と学校図書館を一体化して充実して欲しい。
複合化	図書館	学校の図書館を市の図書館と一緒にして、司書が常駐し、地域の人が貸出などもできるようにすると良い。
保護者	交流	保護者同士がPTA以外でも交流できるような仕掛けが必要だ

④快適な学校

学校施設への自然素材の導入や、環境配慮への意見が多くあった。

また、快適な学校とするために、バリアフリーや教室環境の改善に対する意見があった。

【出された意見】

教室環境	空調設備	全ての教室にエアコンを設置してほしい
教室環境	普通教室	現在は机の大きさやロッカーの大きさ、道具の置き場が十分でない。
計画の見直し方針	自然環境	自然環境が計画に観点として入っていない。
校舎・施設	断熱	エアコンだけに頼らない快適な環境（新素材など）。二重窓
校舎・施設	校舎	校舎は木材を使用してほしい。
校舎・施設	校庭	環境に配慮なら、グラウンドを天然芝化しても良いのではないかな。
校舎・施設	校庭	自然に触れあう観点から校庭は土が良い。
校舎・施設	コロナ対策	コロナ禍で水道からの水飲みができないが、横に紙コップを置いておくと冷水機に口をつけなければ OK など方法はあると思う。
校舎・施設	コロナ対策	コロナ禍で歯磨きもできない状況だが、歯の健康のためにも歯磨きはできるようにしてほしい。
校舎・施設	自然環境	子供が自然に触れあえる環境が必要だ。
校舎・施設	太陽光パネル	ソーラーパネルで蓄電すると、平時も災害時も使えてよい。
校舎・施設	太陽光パネル	各学校に太陽光パネル等のエネルギーを自給自足できる装置を設置してほしい。
校舎・施設	バリアフリー	バリアフリー化は大切。
校舎・施設	バリアフリー	バリアフリーの設備は当然。意識づけも…アンコンシャスバイアス。
校舎・施設	プール	快適に利用できるプールを各校に設置してほしい。
児童生徒	意見表明権	子供たちの意見表明権が保証されている学校であると良い。教育委員会に直接物申せるシステムや校内に目安箱を設けるなどがあると良い。
児童生徒	携行品	子供たちの通学時、荷物が多く重たいので、水筒を持参せずに通えるようになると良いと思う。見ていて可哀想。

2) 平方地区

(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」

①計画のコンセプト

平方地区の地域事情を踏まえて計画を策定してほしいとの意見があった。

また、統廃合が児童生徒数の減少に起因するのであれば、地域振興を行ない地区人口が増加する施策を取るべきとの意見があった。

【出された意見】

学校規模	学級数	学校規模の適正化において見込まれる効果だけでなく影響も示してほしい。
学校の立地	アンケート	アンケートは、1コミュニティに1学校というのが正しい分析なのではないか。
計画の見直し方針	コスト削減	人、お金、時間どこまで本気でやってくれるのか。
シティセールス	人口増加施策	児童生徒の減少は分かったが、市として人口を増やす施策、地域振興の施策はあるのか。
シティセールス	人口増加施策	子供が減る前提で計画が考えられているが、子供を増やす方法も考えてはどうか。
シティセールス	地域振興	少子化問題は誰の責任なのか。人口が減った理由を議論してない。この地域は市街化調整区域があり、住みたくても家が建てられないエリアである。そういったことを理解した上で議論する必要があると思う。
統廃合	学校の歴史	各学校のもつ背景は学校で異なる地域ごとにちがう。
統廃合	通学距離	統廃合については、通学距離が長くなるのが最大の問題だと思う。
通学距離	アンケート	アンケートは、1コミュニティに1学校というのが正しい分析なのではないか。
通学距離	児童	片道通学距離のアンケートで、1.5 km以内が51%もあるが小学生にはムリではないかと思う。
予算	教育内容	経費削減と言っているが、子供は国の宝なのだから、むしろお金をかけるべきだ。
保護者	負担軽減	PTA 活動の在り方を見直す必要があると思う。 共働き家庭の増加等の理由で今までと同じ形態で活動していくことが難しくなっている。

②計画の方向性 1 「教育環境の整備方針」

GIGA スクールについては、良いとの意見がある一方、懸念する意見もあった。

小中一貫教育については、内容が理解できないとの意見が多い。

また、教員の負担軽減に対する意見があった。

【出された意見】

教育内容	GIGA スクール	GIGA スクールにおいて、不登校児童生徒への授業配信の現状はどうなっているのか知りたい。親は授業の遅れが心配。
教育内容	GIGA スクール	いい方向に進んでいるとは感じる。
教育内容	GIGA スクール	PC などを使いこなせるかどうかで学習に差が生まれるのではないかな。
教育内容	GIGA スクール	教師との対話がなくなることが懸念される。
教育内容	インクルーシブ教育	特別な支援を必要とする子にとってインクルーシブ教育が必ずしも良いとは限らない。本当にその子に合っているのか、みんないっしょがその子にとって本当によいかどうかを考えることが大事だと思う。
教育内容	個別対応	道徳教育、心の教育（学力など）を児童一人一人に合った教育ができていないか心配。実際には差が出ていると思うし、結局、最大公約数で行うのではないかと懸念する。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育が本当に良いのかどうか、まだ議論できてないと思うが、それなのに進めるのは良くないと思う。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育のデメリットも示してほしい。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育のメリットとデメリットを比較したい。
教育内容	小中一貫教育	一貫教育はいじめの問題も引き継ぐのではないかな。
教育内容	日本語教育	IC 教育も必要であろうがもっと日本語教育も必要でなからうかな。
教育内容	特別支援学級	発達支援学級の教室が遠い。教室をもっと多くしてほしい。
教育内容	部活動	スポーツにふれる機会。 経済的にきびしい子も部活ができるとよい。
教育内容	—	今の子供を見ていると忙しそう。もう少しゆっくり、ゆったりした教育で、学校が好きになるような教育が必要だと思う。
教員	負担軽減	校長先生、教頭先生が毎日（10 日間）除草作業していた。彼らがすべき仕事は他にあるのではないだろうか。
教員	負担軽減	教員の負担軽減として、除草作業などの雑務の外部委託があると良い。
教員	負担軽減	小中学校の教員の負担が大きい（18 時でも留守電でない電話対応してくれて心配になった）。
児童生徒	部活動	学校によってクラブ活動の頻度が異なっているように思う。学校によって差を無くすべき。

地域との交流	コーディネーター	地域に人材はいるのに、コーディネーターと学校をつなぐ人がいない。学校を地域に開くことがまだ不十分な状況。学校に地域の声を届けることがあったが、教員の負担大きいことを実感した。
地域との交流	学校運営	学校の運営方針は、もっと地域の声を聞いてほしい。
通学路	安全安心	通学路には未整備の道路もあるため、安心安全に登下校できるようになればよい。
複合化	セキュリティ	複合化により不審者のリスクが増えるのではないか。

③計画の方向性2「学校規模の適正化方針」

学校規模や学級数については、小規模な学校にメリットを挙げる意見が多い。

また、地域事情や通学距離の観点から、平方小学校を存続してほしいとの意見が多く出ている。

【出された意見】

学校規模	学級数	今のままでは1クラスしかなく、クラス替えができないので子供のことを考えても問題だと思う。
学校規模	学級数	1学年1学級としてそのデメリットが学校そのものが無くなるデメリットよりも大きいとは思えない。
学校規模	学級数	小学校12~24学級、中学校9~24学級は標準規模であり適正規模ではない。
学校規模	学級数	海外の方が小規模であり、日本は学校規模について海外と逆を行っている。
学校規模	通学区域の変更	学区割を変えることで学級数を平準化できないだろうか。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫校を作った場合、小学校でいじめにあった子が別の中学に進学できない懸念がある。
教育内容	魅力ある学校づくり	「大谷小に行きたい」と言う親が多い。平方小も大谷小と同じレベルの魅力を作って欲しい。
教員	教員の確保	クラス数を増やすことで教員の数は確保できるのか疑問。結局、教師の負担が減らないのではないか。教員数不足だが国はそう思っていないことが問題だと思う。
教員	統廃合	教員の数が多くなるというデメリットが学校そのものが無くなるデメリットよりも大きいとは思えない。
クラス人数	少人数学級	小さいクラスには小さいなりのメリットがある。先生も楽である。
シティセールス	人口増加施策	児童生徒の減少に対処するのではなく、地域の人口増を図るべき。
シティセールス	人口増加施策	魅力的な学校を作ればそれが人口増に寄与できるのではないか
シティセールス	地域振興	子供の減少だけでなく、そもそも高齢者が多いという地域性もあり、考えるべき課題は多い。

通学距離	遠距離への対応	通学距離が長くなった場合、バスや親の送迎など適切な対応が図られるべきだ。
通学距離	地域事情の反映	平方地区は市の中心部と比較して住民が少ないので、地区の人口を考え、一律で人数割りをしないで欲しい。
通学距離	—	通学距離は1.0 km以内であるべきだ。
通学距離	通学方法	学校は子供が一人で歩ける距離にあることが重要だ。毎日送迎はできない。
統廃合	学校の歴史	平方小は市内で一番古い学校で、長い歴史がある。平方北小は平方小の分校で、平方東小は大石地区の学校だ。歴史や卒業生の学校への愛着にも考慮してほしい。
統廃合	地域	統廃合してしまうと地域との隔たりの出るのではないかと。小規模の方が親睦が深まるのでは。
統廃合	地域事情の反映	平方東は実際には大石地区であり、そこに平方小が統合されると地域内に小学校が無くなってしまふ。
統廃合	地域事情の反映	平方小は平方地区の中心であり、もし平方北を無くすなら、平方小に統合させるべきである。
統廃合	地域事情の反映	平方の地域性や文化、伝統を無視して計画を考えていないか。
統廃合	地域事情の反映	地域性等考慮して検討すべき。
統廃合	地域事情の反映	骨子案に学校規模だけでなく、地区の住人の数や市内での地区の立地などを考慮に入れることを記載してほしい。
統廃合	通学距離	統廃合されて学校までの距離が遠くなったとき、スクールバスを出すとなれば人件費や安全性などの懸念が多い。
統廃合	通学方法	統廃合の際、通学方法にバス活用は考えているのか。
統廃合	立地	地区の真ん中にあり、地区内の各方面から通学しやすい立地にあることを尊重してほしい。
統廃合	立地	地区内での立地、地区内各地からの通学距離の考えを骨子案に入れてほしい。
統廃合	進め方	統廃合が当然のように話が進んでおり、存続の方向はないのか。
避難所	学校施設	避難場所として地域に学校を残すべきである。

④計画の方向性3「学校施設の更新方針」

複合化には前向きな意見が多く、地域の人が集まれる拠点的功能を望む意見が多い。

【出された意見】

計画の見直し方針	統廃合	統廃合ありきなのか。統廃合しなければならないのか。ハード面（施設）とソフト面（教育内容）をどうするか考えなければならないと思っている。
計画の見直し方針	骨子案	施設の老朽化があつて、それらをどうするか計画を立てる。予算→学校再編ならわかるが、学校再編→予算はナンセンス。
計画の見直し方針	アンケート結果の反映	アンケートの結果や意向を踏まえて計画策定してほしい。
校舎・施設	学校開放	学校は地域には閉ざしており、土日平日も入れないという現実がある。活用を考える上での大きな課題だと思う。
校舎・施設	学校開放	子供の遊び場所が無いのが問題であり、学校で自由に遊べる場所にしてほしい。
校舎・施設	プール	指導教員いない、維持費かかるということでプールがなくなっていくのは残念。
統廃合	旧校舎の活用	廃校になった建物は維持費がかかる。
統廃合	旧校舎の活用	廃校施設をどう活用するかが課題だ。
複合化	公民館	地域の人に興味をもってもらいたいし、公民館があるとPTAも夜あつまれる。みんな働いているので、昼間の会合は厳しい。
複合化	セキュリティ	公共施設の複合化で防犯対策を懸念する。
複合化	図書館	図書館を複合化して広い施設にしてほしい。
複合化	施設利用	子供が減っても使える施設があるので、学校施設の複合化はよい考えだと思う。
予算	教育内容	子供や教育には経費削減よりもむしろ経費をかけるべき。

⑤その他

【出された意見】

統廃合	立地	周辺に支所や公民館もある地区の中心核に位置しているの、地域のシンボルである。
検討の進め方	業務委託	外部のコンサルタントに市教育委員会が業務委託しているのが腑に落ちない。
シティセールス	人口増加施策	人口が少ないから学校を減らすのであれば、平方に人口が流入する施策を考え、人口を増やして学校を存続させてほしい。
市民ワークショップ	配布資料	事前に資料送付してもらえれば、あらかじめ目を通し、会の目的にあった意見が出せると思う。
市民ワークショップ	配布資料	資料の印字が薄い。もっと濃くしてほしい。
市民ワークショップ	配布資料	スクリーンに表示した資料は全部印刷して配布してほしい。
市民ワークショップ	位置づけ	実態から課題が分かるのだから、WSはしなくても良い。
市民ワークショップ	配布資料	配布された資料と市から説明された資料の構成が違うため、理解が困難であった。最初に、構成が違うことを説明して欲しかった。
市民ワークショップ	配布資料	発表のスピードと情報量により理解が大変である。

(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと

①安全・安心な学校

校舎内や通学路での安全確保など、児童生徒への見守りやセキュリティについての意見が多くあった。また、避難所の充実に対する意見も多くあった。

【出された意見】

校舎・施設	バリアフリー	高齢者が利用できるようにバリアフリーにしてほしい。
児童生徒	学童保育所	現状、学童保育施設は学校内に無い。安全のために学校内に置くようにしてほしい。
児童生徒	登下校	見守り隊は学校の下校には対応するが、学童保育には対応していない。
児童生徒	見守り	個人情報を守りながら見守りできる仕組みが必要。
セキュリティ	見守り	登下校時だけでなく校内の巡回に地域の方に協力してもらってはどうか。生徒、児童の見守りを有償ボランティアとしてお願いしてはどうか。
セキュリティ	ソフト面	ソフト面の安全対策は考えられているのか。
セキュリティ	不審者対策	今の体育館ウラの扉はカギが開いていて誰でも入れてしまい、防犯上危ない。
セキュリティ	不審者対策	不審者など想定したソフト面の安全も。
セキュリティ	防犯カメラ	有償ボランティアにしる地域のマンパワーの問題もある。防犯カメラを利用することも考えてはどうか。常に見るわけにはいかないが、抑止効果はあるのではないか。
セキュリティ	不審者対策	学校の入口のドアは誰でも入れる。何かおきる前に対策をしたい。
セキュリティ	オープン型教室	オープン教室のタイプは、防犯上、教員だけでは対応しきれないのではないか。
建物更新	設備	耐震以外にも、老朽化により危険な箇所があるため、安全にしてほしい。
地域との交流	イベント	子供と一緒に行事やイベントを開催し親世代も学ぶ。
通学路	安全性の確保	距離があるときも安全安心に登下校できるように、スクールゾーンやゾーン 30 などの整備をすすめてほしい。
通学路	安全性の確保	通学距離が長いと、それだけ危険にさらされるリスクも高まる。
通学路	スクールバス	子供たちが危険な道を歩かないで済むようにスクールバスも検討してほしい。
通学路	見守り	通学距離が長くなると旗当番など交通安全の負担が大きくなることも課題である。
通学路	見守り	通学時の見守り運動が行われていることは良いことだ。

通学路	見守り	ボランティアの人たちが校門まで交通安全のため送り迎えているのは良い。
特別支援学級	余裕教室	支援学級が遠いのが現状であり、安全のため学校の空き教室を活用してほしい。
避難所	情報提供	避難所の情報が意外と知られていないため、知ってもらうようにする。
避難所	水害時	水害など災害時に避難所として対応できる場所であってほしい。
避難所	水害時	水害時には第2校庭は水没するため使えない。
避難所	水害時	水害時には第2校庭は水没するため使えないが、体育館は高い所にあるから大丈夫。
避難所	防災訓練	防災面でも学校を活用する。
避難所	防災訓練	地域ぐるみで避難訓練で学校活用。
複合化	学童保育所	学校の中に学童があると、子供たちが移動なく使えて、学童以外の友達とも遊べるし、親としても安心できる。また、空き教室の活用にもなると思う。
複合化	交番	交番併設にすると、「地域に開かれた学校」にもつながるのではないか。

②新しい学びに対応した学校

平方地区の特徴を反映した農業に関する授業の提案があった。

【出された意見】

教員	ICT 教育	学校の先生も PC 教育に対応できておらず、充実を図るべき。
教員	指導方法	子供を規則や規制で管理するのではなく、理解と納得に重きを置いた指導が必要では。
教員	指導方法	押し付けではなく納得のいく教育が必要。
教員	指導方法	子供の個性にあった教育を。
教室環境	オープン型教室	廊下側に間仕切りがなく、他のクラスとの一体感が持てる教室が良い。
校舎・施設	多目的スペース	課外活動が容易なスペースとゆとり教育の場所があること。
児童生徒	カウンセラー	学校カウンセラーが対応する内容を平準化し、対応不足の学校が無いようにすべきだ。
児童生徒	カウンセラー	カウンセラーが足りないのではないかと。人員を増加してほしい。
児童生徒	携行品	デジタル教科書にすることで、子供たちの荷物を減らすことができると思う。
児童生徒	携行品	子供に重い水筒を持たせる代わりに、学校に水飲み場を設置するなど子供の負担軽減を考えてほしい。

児童生徒	学校規模	子供たちの個性を把握し活かせる規模のクラスの人数や学級数が必要だ。
教育内容	体力向上	リモート教育のみだと運動不足になる。体を動かす教育を。
教育内容	屋外授業	PC 教育も良いが子供を外で遊ばせる事も大切にしてほしい。
教育内容	オンライン授業	リモート教育は、実際には不十分。コロナ禍においても活用されていない。
教育内容	学習者用端末	子供たちにはタブレットではなく、キーボードがあるパソコンを使わせたい。
教育内容	教員と子供のコミュニケーション	PC を活用しても先生と生徒が顔を見ながら話すコミュニケーションを維持してほしい。
教育内容	魅力ある学校づくり	平方小の魅力を作ることで人口増を図るべき。
教育内容	地域性を活かした農業教育	平方らしく農業教育を行うと良い。
教育内容	地域性を活かした農業教育	農業に係る文化財が存在する。
教育内容	机の配置	各教室の机の並びを島型や円形にしてはどうか。
教育内容	バリアフリー	バリアフリーそのものの理解を深める。学ぶ
教育内容	ペーパーレス	PC を使用するならペーパーレスな授業であっても良いのではないか。
教育内容	読み書き	デジタル対応は必要だが、アナログで文字などを書くことも大切ではないか。

③地域に開かれた学校

学校開放や施設の複合化に関する前向きな意見が多い。また、地域住民が持つ多様なスキルを児童生徒に伝えるための交流への希望が多くあった。

【出された意見】

検討の進め方	学校運営協議会	学校運営協議会のなかでもテーマとして考える
校舎・施設	余裕教室	学童は狭い中でやっているし、地域・生涯学習などで教室を使うニーズがあるため、空き教室を有効に使いたい。
校舎・施設	学校開放	図書館、PTA 控え室、コーディネーター常駐など、地域の人々が活動しやすい環境をつくりたい。そして、施設としての管理者を置くのが良いと思う。
校舎・施設	学校開放	学校開放について既存のものの拡大という手もある。
校舎・施設	学校開放	学校が授業中でも地域の人が入れるエリアがあると良い。また夜も使えると良い。

校舎・施設	学校開放	地域に開かれることは、人の目も増えるのである意味防犯になるが、悪い人もいますので、防犯的な配慮はより必要になると思う。
校舎・施設	学校開放	不審者などのリスクも考えられるため、安全面も考慮して進めてほしい。
校舎・施設	学校開放	授業中に学校開放するのであれば、子供の安全に配慮してほしい。
校舎・施設	学校開放	高齢者が健康のため、体育館を利用できると良い。
校舎・施設	学校開放	高齢者や図書館や備え付けのタブレットを使えると良い。
シティセールス	地域振興	道が狭いので遊べない、道を広くしてほしい。
シティセールス	地域振興	学校を地域の中心とする。
地域との交流	高齢者の食事支援	高齢者が多いという地域性も考え、高齢者の食事なども学校が支援してはどうか。
地域との交流	学校公開	授業の内容を地域の人々に公表する。
地域との交流	地域人材の活用	生涯学習の拠点として、家庭科などの授業を地域の人にサポートしてもらえるとPTAも人手が足りないのを助かる。ミシンの使いかた、針に糸通しなど、保護者だけでは人数的に難しい。子供たちにはそこでの成功や失敗体験も必要だと思う。
地域との交流	地域人材の活用	彫刻刀なども使えるように、少人数で教えてもらえると良い経験になると思う。
地域との交流	地域人材の活用	地域の人の知恵などを生かして、例えば竹とんぼ、竹馬など、来て教えてもらえると子供たちもいろいろ経験できて良いと思う。
地域との交流	地域人材の活用	地域の伝統芸能を教えるべき。
地域との交流	地域人材の活用	地域住民が昔遊びを教えるなど、地域住民との交流を図るべき。
地域との交流	地域人材の活用	子供と高齢者など地域の方との交流の場としての学校の活用。
地域との交流	地域人材の活用	年配の方から料理など家庭科も教わる。
地域との交流	地域人材の活用	学校の管理を地域全体で担う。
地域との交流	地域人材の活用	多様な地域の人材を活用するべき。
地域との交流	地域人材の活用	授業の内容を地域の人々に公表して、参画を促すべき。
地域との交流	地域の行事	地域運動会（現在も行われている）のようなものも今後も継続していくべき。
地域との交流	イベント	三世代が交流できるイベントが必要。
地域との交流	郷土愛	地域に対する愛を上手いかせないか。
複合化	公民館	学校と公民館が併設すると良いのではないかと。公民館などを利用して行なっている活動（ダンス、囲碁等）に子供たちが参加できるし、親から聞けない話を地域の人から教わることで社会性教育にもつながると思う。
複合化	交流スペース	地域の人が集える、室内の広場やラウンジのような場所があると良い。

複合化	高齢者施設	各々支援が必要なので両方あることでメリットがあるし、一緒に遊ぶこともできて良いのではないかな。
複合化	支所	現状、地域拠点となるべき支所と学校が離れているので、一か所にするべき。
複合化	多目的スペース	複合化には、地域との交流ができる、遊び場所、スポーツ施設、文化施設を入れるべき。
複合化	スポーツ施設	
複合化	文化施設	
複合化	地域拠点	現状、地域拠点となるべき支所と学校が離れているので、一か所にするべき。

④快適な学校

エアコンの設置に関する意見が多くあった。

また校舎や施設・設備が老朽化しているとの認識から、施設等の更新に関する意見が出ている。

【出された意見】

教室環境	オープン型教室	中央小や富士見小のような校舎はよいと思う。 計画の方向性とも合うし、オープン教室によりクラスの枠を超えた交流ができると思う。
教室環境	空調設備	体育館にエアコンを設置してほしい。
教室環境	空調設備	特別室にエアコンを設置すべきだ。
校舎・施設	学校開放	施設開放するなら校内ではなく、屋外にトイレが必須ではないか。
校舎・施設	学校開放	放課後公園代わりに学校・校庭を使えると良い。
校舎・施設	学校開放	地域への開放に当たっては防犯性も考慮すべき。
校舎・施設	学校開放	体育館を地域の行事で使えるように広くしてほしい。
校舎・施設	グラウンド	グラウンド（校庭）を人工芝にすると、雨が降ってもぐちゃぐちゃにならないし、防災拠点として、いざという時、屋外だが土より使いやすいと思う。
校舎・施設	グラウンド	運動場等の人工芝等の施設はやめて欲しい。やはり土が良いと思う。排水に関しては、排水施設を施した運動場にしてほしい。
校舎・施設	体育館	体育館の道具が古いので適切に更新してほしい。
給食	献立	給食は暖かく、栄養があり、家庭の味で、新鮮な食材を使ってほしい。
給食	—	給食も充実しているのか。
給食	空調設備	給食室にエアコンを設置すべきだ。
給食	無償化	給食費を無償とすることで、子供の貧困問題を解決するべき。

児童生徒	放課後	学校が、子供が自然に来れる場所になれば良い。
児童生徒	問題を抱える子供	学校をいろんな問題を持つ子供の逃げ場にしてほしい。
建物更新	雨漏り対策	雨漏りの対策はできているのか。
建物更新	床の修繕	床の軋みがすごく、床がぬけそうな場所がある。
複合化	水で遊べる施設	水で遊べる場所が地域でないので、作って欲しい。
教育内容	水泳授業	プールの故障で今年度は2回しか入れなかった。プールの外部委託は、専門の先生に教えてもらう機会にもなる。教員の負担を減らしていつも入れるようにすると子供にとっても良いのではないか。

⑤その他

【出された意見】

検討の進め方	情報提供	市民から大反対出たのに、十分な議論ができていない。このまま話を進められない。ゼロベースに戻すことになったので、まずはゼロベースにした理由を検証し、市民にフィードバックが必要ではないか。その上で、今日の議論があると思う。
--------	------	---

3) 原市地区

(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」

①計画のコンセプト

地域特性への配慮や、建物の更新への考え方に対する意見があった。

【出された意見】

計画の見直し方針	ゼロベース	ゼロベース、前回プランは全くのゼロになるのか。
計画の見直し方針	ゼロベース	統廃合もゼロになるということか。
シティセールス	団地再生	団地の建て替えがあると人が増えるだろう。学校なくしてまた人が増えた時、学校が足りないことになる。そこを含めて考える必要があると思う。
建物更新	学校施設	30年もつものをつくり建て替えていけばよいのではないか。

②計画の方向性1「教育環境の整備方針」

GIGA スクールについては、学習者用端末の活用方法の他にネットトラブルについての懸念があった。

また、不登校対策についての意見も多くあった。

統廃合があった場合の通学路の安全性について多く意見が出ている。

【出された意見】

アンケート	教員	教員アンケートの回答率の低さ少し残念です。
建物更新	学童保育所	学童保育は老朽化しているので、学校を新築するときには学童保育もつくってほしい。
教育内容	GIGA スクール	GIGA スクールで、不登校児童のオンライン授業を実施してほしい。
教育内容	GIGA スクール	常に PC を使うことで、対面でのコミュニケーション能力が低下するのではないかという懸念がある。
教育内容	GIGA スクール	ひとり1台パソコンは、あまり活用されていないのではないか。
教育内容	GIGA スクール	ICT 端末での学習が増え、辞書や本に触れる機会が減るのではないかと心配になる。
教育内容	GIGA スクール	GIGA スクールでは PC を使うことで読み書き能力が低下するのではないかという懸念がある。
教育内容	GIGA スクール	H7～8年生子供、メルアド、SNS、LINE など使うが、セキュリティがネットトラブルが心配。

教育内容	GIGA スクール	学校でのネットメディアリテラシーへの対策はどのようになっているのか。セキュリティが心配。
教育内容	小中一貫教育	中一ギャップというハードルを低くするのではなく、ハードルを越えられる力を身に着けさせるのが教育なのではないか。
教育内容	小中一貫教育	ギャップを乗り越えられるための教育を。
校舎・施設	学校開放	学校が地域に開かれた場合、図書館とかあるといいと思うが、放課後や休日などのセキュリティが心配。
校舎・施設	学校開放	地域住民団体が現在学校を利用しているので、不都合がでるのではないか。
児童生徒	いじめ対応	いじめ対応は改善されていない。
児童生徒	交友関係	統廃合で学区が広がると、友達も広範囲になりこどもの行動範囲も広がる。親にとっても知らないエリアが広がり不安がある。
児童生徒	部活動	生徒は部活動の仲間とのやりとりなどしたい。生徒が部活メンバー間で連絡を取れるように LINE ワークスが使えようになるとよいのではないか。
児童生徒	不登校対策	市内にはフリースクールがないので、多様な学び、個別、少人数、イェナプランなど他の教育方法などを実施してほしい。
児童生徒	不登校対策	統廃合をする場合、長い時間がかかると思う。現時点で 200 人いる不登校児への対応を空き教室などを使って早急を実施してほしい。
児童生徒	不登校対策	柔軟で創造的な学校空間として、不登校の子供の居場所をつかってほしい。
児童生徒	不登校対策	公共施設の複合化として、不登校児が通える施設を整備してほしい。
通学距離	アンケート回答	通学距離のアンケートで、教員の回答距離が長いので、通学距離に対する教員の意識が低いと感じた。
通学距離	—	通学距離は慣れるので、多少は遠くても大丈夫ではないか。
通学路	安全確保	統廃合した場合、通学の安全を具体的にどう確保するのか。
通学路	安全確保	通学路で大きな道路を渡る場合は安全性が心配である。
通学路	通学路案の検討	統合後の通学案（ルート、安全性確保）も一緒に示してほしい。
通学路	通学路案の検討	通学路を考える際には、小学生の事故数、犯罪数を知りたい。それを踏まえてルートを検討してほしい。

③計画の方向性2「学校規模の適正化方針」

学校規模については、1校当たりの学級数よりも、1クラス当たりの人数についての意見が出ている。

また、統廃合によるデメリットが知りたいとの意見があった。

【出された意見】

学校規模	学級数	学校規模について、上尾市は24学級以下としているが、国の18学級以下に合わせた方がよい。
学校規模	学級数	学級数の違いがどの程度学力に影響するかといった視点での検討も必要。
学校の立地	地域事情の反映	学校は地域コミュニティの交流の場であるので、地区ごとに学校があるべきだ（尾山台小、瓦葺小）。
教育内容	小中一貫教育	一貫教育がどの程度学力に影響するかといった視点での検討も必要。
教員	質の向上	学校規模を維持して学校に一定数以上の教員がいれば、教員ガチャ（よくない教師にあたってしまうこと）も少し緩和できることを期待する。
教員	補助員	教員配置。担任以外の教員多く配置は必要だが、教員資格をもっていない、地域の人でよいのでは。
クラス人数	少人数学級	1クラスの中に多く人がいても、社会性が育まれるわけではない。少人数学級が良いのではないか。
クラス人数	少人数学級	35人学級でも多いのでは（低学年）。それを補う補助教員も少ない。
クラス人数	少人数学級	ひとクラス30人でも、先生は低学年だと見きれない。
シティセールス	団地再生	UR団地は老朽化しているが、今後の整備方針は、将来の人口動向に影響があるので、知りたい。
建物更新	更新時期	学校建築が1974～1978年に集中しており、それが一度に老朽化して対応に迫られる原因になっている。計画的に時期をずらして建てた方がよかったのではないか。
通学路	安全確保	学校規模を大きくすることは賛成だが、遠くなってしまう子への配慮は必要だと思う。例えば、・登校班、・交通安全、・保護者が来校する際の移動手段など。
通学路	通学路案の検討	通学路は大きな道路や線路を渡らない市の方針があるので守ってほしい。
統廃合	デメリット	統廃合するメリットは分かったが、デメリットを知りたい。
統廃合	デメリット	大規模校にするのが必ずしも良いことばかりではないのでは。デメリットはないのか。
統廃合	具体案	尾山台小は統廃合されるのか、具体案を知りたい。

統廃合	小中一体校	小中一貫教育について、施設を一体化する場合、学校の規模が大きくなるのが心配である。
統廃合	進め方	廃校の検討対象となる地域には丁寧な対応が必要。
統廃合	メリデメ	統合時のメリット、デメリットをより明確にすべき。
避難所	統廃合	学校は避難所にもなるので、高齢者など移動弱者は遠くなることで避難が大変になってしまう。
避難所	水害時	水害のある地域の学校が避難所になっていたりするが、それが適正なのだろうか。確実に避難できることが必要ではないか。
複合化	児童館	児童館や学童保育は学校と一緒にあると子供にとっては移動せず使えるので良いのではないか。
複合化	学童保育所	
複合化	社会教育施設	学校施設と社会教育施設との複合化が地域にとっても使えるので、良いと思う。
複合化	図書館	図書館や公民館があると子供もおとなも使えるのではないか。
複合化	公民館	

④計画の方向性3「学校施設の更新方針」

施設の共用化・民間施設の利用については、前向きな意見があった。

建物の更新については、情報提供を求める意見が多く出ている。

【出された意見】

学校の施設	共用化・民間施設の利用	プールを民間施設利用にしたら授業数が増えた。授業にプラスになる民間施設利用を推進すべきだ。
教室環境	普通教室	児童生徒アンケートの結果を踏まえて、学習机等の学校の環境改善をしてほしい。
建物更新	耐用年数	コンクリートは100年持つと言われているので、学校ももう少し長もちするのではないか。
建物更新	耐震	耐震の調査について詳しい情報が必要。方法、結果。
建物更新	建替え	目標は具体的な数値で示すべき。
建物更新	保全計画	耐震だけでなく保全も検討すべき
建物更新	保全計画	保全工事について検討の有無を説明できるようにしたほうが良い
複合化	セキュリティ	複合化方針として、コミュニティの拠点とした場合、安全に配慮してほしい。
複合化	民間活用	経費削減のためには民間の活用を検討できるとよい。

⑤その他

【出された意見】

検討の進め方	情報提供	現計画は、知らないところで勝手に策定が進められたように感じた
検討の進め方	情報提供	計画検討内容を随時周知してほしい。
検討の進め方	地域事情の反映	数字だけの検討でなく、個々の地域事情も踏まえた計画策定を
検討の進め方	情報提供	これまでの学校施設の更新（教育）に関する取組の成果が見えてこない。
計画の見直し方針	骨子案	骨子案の内容は大切だ。
アンケート	18歳以上	アンケート調査の回収率を高めるため、インターネットでの回収も使うといいのではないか。
アンケート	児童	小学生の回答結果をわかりやすく提示してほしい。
シティセールス	人口増加施策	人口増を目指すためには子育てしやすい施策が重要。
市民ワークショップ	情報提供	説明が多すぎ、早くてよくわからない。

(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと

①安全・安心な学校

学校開放におけるセキュリティ対策に関する意見、避難所の充実に対する意見が多く出ている。

【出された意見】

校舎・施設	学校開放	地域へ解放することで、地域が学校に関わる機会もできると思うが、管理、セキュリティについても同時に考える必要があると思う。
校舎・施設	学校開放	地域の人が日中利用できるのは良いことだと思うが、誰でも出入りできることになるので、セキュリティには配慮が必要だと思う。
校舎・施設	学校開放	学校開放するのであれば、子供たちが授業で使うエリアと、部外者が立寄る場所の区画を完全に分け他方が良い。
校舎・施設	学校開放	学校開放するのであれば、部外者の入館は登録制が良い（現状は保護者も登録制）。
校舎・施設	バリアフリー	エレベーターが無いと、ケガ等で階段を自力で上がれない子には保護者の付き添いが必要となるため、エレベーターの設置が必要だ。
給食	安全性	子供に有機給食国産小麦のパン又は完全米飯給食を食べさせたい。
セキュリティ	学校開放	児童の親としては、部外者は校舎の外であっても敷地内に入ってほしくない。
地域との交流	人材の活用	地域の人々が無理なく取り組めることが重要。
地域との交流	見守り	地域の人材を活用した見守り活動等ができるとうい。
通学路	安全安心	小学1年生も安全に通える通学路としてほしい。
特別支援学級	余裕教室	現在、通級対象者は遠くに通う必要があるため、空き教室がある学校など、通級実施校を増やしてほしい。
避難所	水害時	水害時にも使える避難所として整備すべきだ。
避難所	通信環境	災害時にも情報を入力できるように、停電しても使える Wi-Fi の整備が必要だ。
避難所	バリアフリー	災害時の避難所として整備するためには、2階体育館に上がれるようにバリアフリー化を進める必要がある。
避難所	備蓄	自家発電できるように機器、備品をストックしておきたい。
避難所	備蓄	食料は、500食しかストックがないはず。それでは足りないのではないか。
避難所	プールの活用	プールをつかって飲料水の確保をしたい。抗菌性のシリコン袋でできた液体コンテナをプールに保存するのが良いと思う。プールのため水はポウフラが湧くので、衛生的ではないと思う。
避難所	防災公園	防災公園のように学校が整備されているとうい。

②新しい学びに対応した学校

授業に対する指導方法についての意見が多く出されている。

学習机や教室の広さについても意見があった。

【出された意見】

教員	指導方法	ハードをオープン教室型にしたら、授業スタイル自体の見直しも必要だと思う。
教員	指導方法	「興味をもたせる」ことが大事。
教員	指導方法	フリークラスの週数回の実施（学校水準維持との関連性の問題）。
教室環境	オープン型教室	富士見小のオープン教室型について、実際どのような状況なのか。メリット、デメリットなど知りたい。
教室環境	オープン型教室	オープン形式の教室など最先端の方法は、そのメリットデメリットを研究してから導入を検討してほしい。
教室環境	可動式の壁	使用用途により柔軟な使い方ができるとよい。
教室環境	空調設備	特別室にエアコンを入れてほしい。
教室環境	GIGA スクール	パソコン 1 人 1 台は、時代にあっている。
教室環境	普通教室	タブレットを使った学習をするには、今より大きい机にしてほしい。それにとまって、教室の大きさも見直す必要があるのではないか。
校舎・施設	学校開放	地域への開放はよいが、合わせてセキュリティ対策は万全にする必要があると思う。
校舎・施設	自習スペース	声を出すことを気にせず、子供たち同士で勉強ができる場があるとよい。
児童生徒	カウンセラー	気軽に立ち寄り、カウンセリングが受けられる場があるとよい。
児童生徒	不登校対応	学校に行けなくなった子供の居場所、彼らが安心していけるところを作ってほしい。
地域との交流	地域人材の活用	地域の人から子供たちが学べるプログラムがあり、交流が生まれるとよい。
教育内容	新しい教育	時代に合った授業として、ロボットのプログラミングや映像制作が学べると良い。
教育内容	新しい教育	時代に合った授業として、農業を体験できる授業があると良い。
教育内容	新しい教育	クリエイティブな能力を伸ばせる授業を。
教育内容	新しい教育	現代の最新技術を学べる授業を。
教育内容	英語教育	英語を小学校 1 年生から取り組んで英語嫌いになることが心配である。
教育内容	英語教育	タブレット等も活用した英語教育へのフォロー体制ができるとよい。
教育内容	オンライン授業	オンラインは疲れるので、ずっとではなく時間を区切るとよい。

教育内容	魅力ある学校づくり	子供たちの意見を十分に聞いてほしい。
教育内容	魅力ある学校づくり	校長先生による方針変更も、それまで実施してきている子供の意見を聴いて変更してほしい。
教育内容	魅力ある学校づくり	学校ごとの特色を出してほしい。
教育内容	自習	自習時間が多いと感じる。代わりの先生の授業を受けられるなど、有効に活用できないか。
教育内容	体力向上	体力向上できるプランにしてほしい。
学校選択制	—	学校の特色で通学先を選択したい。

③地域に開かれた学校

放課後の子供の居場所としての利用や、学校開放、施設の複合化については前向きな意見が出ている。一方でこれらの実施時のセキュリティ対策についての意見も出ている。

【出された意見】

校舎・施設	学校開放	スポーツ、文化を通して、子供と地域住民とが交流できるとよい。
校舎・施設	学校開放	学校に室内プールをつくり、地域にも開放してほしい。
校舎・施設	プール	
校舎・施設	学校開放	学校施設を文化活動団体等が使えるように開放してほしい。
校舎・施設	学校開放	講習や習い事に対する施設の開放。
校舎・施設	民間活用	学校施設をスポーツクラブ等に運営をゆだね、地域住民にも使えるようにしてほしい。
児童生徒	放課後	放課後の居場所として空き教室を活用してはどうか。
児童生徒	放課後	放課後の子供たちの居場所づくり。
児童生徒	放課後	一度帰宅せず、放課後に学校で習い事ができるとよい。
セキュリティ	対策方法	セキュリティの方法として、パスを使って施設に入れるようにしたらどうか 100%ではないが、パスを持っていることが一つのハードルにもなるのではないか。
地域との交流	ボランティア活動	読み聞かせ等を地域のボランティアが行うことで、お互い顔の分かる関係となる。
地域との交流	交流場所	学校を地域交流の場としてほしい。
統廃合	旧校舎の活用	統廃合した後の学校を活用してほしい。
複合化	学童保育所	学校と学童をひとつの施設で整備してほしい。
複合化	学童保育所	児童クラブの併設。
複合化	公民館	常に人が居る施設（公民館）と併設。

複合化	児童館	児童館との複合化で来訪者の目が見守りになる。
複合化	セキュリティ	施設を共有化することで安全性が低下することが心配である。
複合化	セキュリティ	学校を不特定多数の人が出入りする地域交流の場とするのであれば、子供の安全が確保されることが大前提だ。
複合化	セキュリティ	複合化を目指すのであれば、セキュリティをきちんと考えるべき。
複合化	デイケア施設	デイケア施設との複合化で来訪者の目が見守りになる。
複合化	図書館	図書館との複合化で来訪者の目が見守りになる。
複合化	保育園	保育園と複合化で来訪者の目が見守りになる。
保護者	負担軽減	外部人材を活用し、PTAの負担軽減ができるとうい。

④快適な学校

エアコンの設置や、建物の意匠や内装に関する意見が出ている。

プールについては、室内プールや施設の共有化について意見があった。

【出された意見】

教室環境	オープン型教室	教室にドアがない開放的なものにしてみると良いのではないかな。違学年交流もできると思う。
教室環境	空調設備	特別教室でエアコンが入っていない部屋があり、窓も開けられず部活動をする子供がかわいそうだ。
校舎・施設	人口増加施策	新しい学校はシンボルになるような外観にして、人口増にも寄与してほしい。
校舎・施設	共有化・民間施設の利用	屋内プールは年中利用できていいが、学校の外に行く移動が心配である。
校舎・施設	プール	室内プールなら年中利用できるようになるが、維持管理できるか心配である。排熱利用するなどで室内化したことによるコスト増を低減することなどを考えてほしい。
校舎・施設	プール	室内プール。
校舎・施設	トイレ	コロナでトイレ掃除が行き届かず、子供がトイレを我慢しており体に悪い。業者にトイレ掃除を依頼するなど、子供がトイレを遠慮なく使える環境としてほしい。
校舎・施設	バリアフリー	学校にエレベーターをつけてほしい。避難所になっている体育館が2階にあるところもあり、障害者や高齢者は上がれなかったりしている。
給食	提供方式	給食の自校調理（全校で）。
給食	空調設備	給食調理室にエアコンを入れることで、調理室で働く人の負担軽減をしてほしい。

建物更新	木質化	耐用年数クリアしたならライトなりリノベーションをして、木質化など、木をふんだんに使って温かみのある過ごして気持ちの良い空間にしてほしい。
建物更新	木質化	幼稚園から小学校に行き始めると、本当に殺風景だと感じる。木質化など、木をふんだんに使って温かみのある過ごして気持ちの良い空間にしてほしい。ランチルーム、多目的ルームなども。
保護者	負担軽減	教員負担を軽減するため、保護者の負担が増えている。外注することで教師も保護者も負担軽減になるようにしてほしい。
教育内容	健康教育	端末を見る機会が増えるので、目にやさしい画面、光だとうれしい合わせて目の体操もとり入れるなど、健康教育も同時に行なってほしい。目の体操は、実際1年で0.3から1.0になったという話も聞く。
その他	コロナ対策	子供のマスク、とってもいいと言ってもまわりを気にしてとらない。夏は熱中症の心配など健康面も心配になる。個の尊重をしてほしい。

4) 大石地区

(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」

①計画のコンセプト

教育内容を優先した計画検討や、シティセールスの視点、不登校対策の盛り込みに関する意見があった。

【出された意見】

計画の見直し方針	優先順位	施設整備にあたっては教育の内容を優先してほしい。
シティセールス	人口増加施策	上尾への転入を促すなら、小中一貫よりも中高一貫の方が効果がある。
児童生徒	不登校対策	風邪の子はオンラインで出席扱い。ならば、不登校の子も出席扱いにするべき。
児童生徒	不登校対策	不登校の子が行ける夜間中学を。

②計画の方向性1「教育環境の整備方針」

GIGA スクールについては、PC の運用や授業内容について学校間の格差や中学校での遅れが指摘されている。

教員や保護者の負担についても意見があった。

【出された意見】

教育内容	GIGA スクール	生徒一人1台PCとなっているが、持ち出し不可、充電不可、休みの子には渡しているが去年と今年で異なるなど、活用されていないと感じる。
教育内容	GIGA スクール	PCの活用よりも人と人の交流を大切にすべきだ。
教育内容	GIGA スクール	端末は用意されたが、教師・生徒含め使いきれていない印象がある。また、活用するためにはWi-Fi環境の整備も必要。
教育内容	GIGA スクール	学校によって運用ルールが異なる。
教育内容	オンライン授業	オンライン授業の仕組みを活用すれば、家でも授業は受けられるので、学校に毎日行く必要はないと思う。
教育内容	オンライン授業	小学校に比べて中学校のタブレット普及率が低い。
教育内容	オンライン授業	中学校の対策が遅れている。
教育内容	オンライン授業	オンラインの使い方が小中で一貫していない。
教育内容	個別最適な学び	個別最適な学びというが、どのような対応をしているのかが見えてこない。子供の学力に合わせたクラス分けをしてはどうか。
教育内容	質の向上	塾よりも学校の授業が充実していると思われる教育をすべきだ。

教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育に対して、教員がついて行けてない。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育は良いと思う。また、施設の複合化により、幼児施設や高齢者施設まで一緒あると良いと思う。
教育内容	多様な学び	「多様な学び」に対応できる環境があるとよい。
教育内容	日本語教育	英語教育を進める前に、きちんとした日本語を身に付けさせることが重要。
教員	負担軽減	GIGA の推進が教員の負担増にならない対策が必要。
教員	負担軽減	教員の質の向上、働く環境ということでは、教員の負担を減らす工夫をすることも重要。
教室環境	学習机	PC 広げると今の机ではせまいので、机をもっと広くしてほしい。
計画の見直し方針	家庭との連携	「地域」のことを考える前に、「家庭」の概念を明確にすべき。学校と家庭との連携が重要。
保護者	PTA	学校に関する問題の原因の一つとして、教職員、地域、保護者のコミュニケーション不足があると思う。基本に戻り、連合を抜けて PTA を見直すことで改善できるのではないか。
保護者	PTA	連合に入っているだけで、地域、教員、保護者のコミュニケーションが足りてないことが問題。

③計画の方向性 2 「学校規模の適正化方針」

学校規模については、クラス替えができる規模を希望する一方で、小規模校の方が教師が児童生徒の様子を把握しやすいので良いという意見が出ている。1 クラス当たりの人数も、少人数学級を望む意見が出ている。

また、学校の統廃合ではなく、通学区域の見直しで学校規模の平準化を図るほうが良いという意見もあった。

【出された意見】

学校規模	学級数	子供たちの学ぶ環境としては、1 学年複数の学級があった方がよい。
学校規模	学級数	適正な学校規模には、クラス内の人数も影響する。+1 学級くらいでもよさそうな印象がある。
学校規模	学級数	骨子案の適正規模の学級数は幅が大きい。アンケート結果を重視してはどうか
学校規模	教員	先生の目は行き届いてほしい。
学校規模	小規模校	小規模校は一人一人の顔が分かり、先生への信頼が高い。大規模になるとそれが失われる懸念がある。

教員	専門教員	中学校で 8 学級以下でも専門教員を配置する方法があるのではないか。例えば、月、水、金は A 校、火、木は B 校で教えるという形は取れるのではないか。
クラス人数	少人数学級	コロナ禍でクラス内を分けて授業を行なった際、我が子は人数が少なくてよかったと言っていたし、成績も向上した。深い学びを行うためにも、1 クラス 30 人以下が良いと思う。
クラス人数	少人数学級	35 人学級が本当に適正なのだろうか。行政都合で決めているだけではないのか。
クラス人数	少人数学級	1 学級 35 人ではなく、もう少し少ない人数にしたほうが、教員の目も行き届くので、子供にとっても良い環境になると思う。
クラス人数	少人数学級	個に応じたきめ細かな指導を行うためには、28 人程度が望ましいと聞いたことがある。
校舎・施設	余裕教室	余裕教室の活用。子供たちにもっとフリーの遊び場を。
児童生徒	部活動	小規模だと部活が 1 チーム作れない。
児童生徒	部活動	部活動を学校間で協力しているところもある。
児童生徒	不登校対策	集団に入れない子への対策は小規模のほうがやりやすいはず。
通学区域	学区見直し	現状でも学区が不合理な部分がある。統合だけでなく見直しも重要。
通学区域	学区見直し	狭い市内なので学校規模の平準化を図るべきだが、統廃合の前に通学区域の変更で対応できないのか。
通学区域	学校選択制	学区にとらわれずに自由に学校を選べると良いのではないか。
通学区域	学校選択制	中学校は通学区域を無くし、学校選択制にしてはどうか。
統廃合	オンライン授業	ICT を活用し、小規模校同士が繋がることで、今より深い学び、交流ができると思うので、統廃合しなくても良いと思う。

④計画の方向性 3 「学校施設の更新方針」

公共施設の複合化については、高齢者に関連する意見があった。

【出された意見】

複合化	旧校舎の活用	無くなる学校の土地や施設は地域有効活用して欲しい。
複合化	交番	学校に交番を設置して欲しい。
複合化	公民館	学校と公民館なら良いが、その他の施設はムリに複合化しなくても良い。
複合化	高齢者施設	学校の施設複合化により、児童生徒と高齢者とが接する時間、機会ができるのは良いことだと思う。
複合化	多世代交流ができる施設	学校の施設複合化により、お年寄りも含めて地域の多世代が集える場ができると良いと思う。

複合化	代替案	統廃合により、学校を複合化施設にすると、これまで近くにあった公共施設が遠くなり、高齢者など移動が大変な人には使いづらくなってしまふ。それより地域の中にある空き店舗などを活用し、そこに地域の人や子供が集まれる場所がある方が良いではないか。
給食	提供方式	給食は集中生産等がいいので継続してほしい。
校舎・施設	学校開放	現状、子供の遊べる場所が無い。子供が自由に遊べる場所を。
校舎・施設	学校開放	音楽室や体育館を地域に貸し出すのは良い。
建物更新	予算	更新時に削減できた費用を使って、スクールバスや温水プールなど、学校施設の質を上げてほしい。
建物更新	ZEB化	脱炭素は不要に思う。
通学路	安全確保	現状でも不審者情報が多く、対策を取って欲しい。

⑤その他

【出された意見】

計画の見直し方針	柔軟性	フレキシブルに方針変更できる計画にしてほしい。
計画の見直し方針	優先順位	「やること」だけでなく「やらないこと」がはっきり書かれていてもよいのではないか。
計画の見直し方針	アンケート結果の反映	対象により回答に違いのある項目については、ぜひ子供の意見を優先させてもらいたい。

(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと

①安全・安心な学校

学校内の安全確保や不登校対策のアイデアがあった。

セキュリティ対策や避難所の充実についても意見があった。

【出された意見】

教育内容	チャレンジ	安全・安心だからといって、「すべて禁止」にしてしまわないこと。危険を経験することで学べることもある。そうしたことを感じられる、多様性のある学校に。
教育内容	チャレンジ	学校版プレイパーク。
教育内容	チャレンジ	秘密基地みたいなイメージ。
教育内容	チャレンジ	「すべて禁止」ではない、子供のチャレンジを認める教育ができるとよい。
教員	鍵の管理	教員の働き方改革によって、子供たちは学校に早めについても校舎に入れないなど、不都合な状況が起きているので解消してほしい。
教員	鍵の管理	先生の働き方改革で、子供たちは早く学校についても校舎に入れない。鍵開けなど地域と連携してできるのではないか。
児童生徒	不登校対応	教室以外の場所で授業を受けられると良い。
児童生徒	不登校対応	授業をオンラインで受けられると良い。
児童生徒	不登校対応	不登校の子が学校に通えるよう、学区を廃止するなど学校に通うための選択の自由、環境改善ができることが必要だ。
児童生徒	不登校対応	不登校の子が学校に通えるよう、教室や在校生の視線が届かない、不登校の子だけの居場所の確保が必要だ。
セキュリティ	防犯グッズ	通学時の防犯グッズとして IC タグをランドセルにつける。また、地域単位の青パトを分散して走らせることができると各地域の安全安心につなげたい。
セキュリティ	防犯設備	顔認証。
セキュリティ	新技術や概念の導入	教育系でない人も入れて、昭和・平成の考え方を捨てる。
セキュリティ	防犯設備	デジタル活用の不審者対策。
セキュリティ	防犯設備	不審者対策をしっかりとつオープンな環境。
セキュリティ	警備体制	安全安心にはしっかりお金かけて、警備体制の強化を図ってほしい。
通学路	点検	通学経路を再点検し、安全に安心して学校へ通えるようにしたい。
通学路	歩道	通学路の安全な歩道（細い道）。

通学路	歩道	歩車の分離
統廃合	通学距離	統合により通学距離が長くなるのなら、安全対策は十分に。
統廃合	通学方法	統廃合で通学距離が長くなってしまった場合、中学生なら自転車を使えるようにしてほしい。
統廃合	通学方法	統廃合したら安全に歩いて通える環境、距離ではなくなるので、スクールバスを導入してほしい。
避難所	管理方法	以前の水害では鍵が無くて利用できなかった学校がある。
避難所	情報提供	備蓄内容を公表してくれれば自宅で何を備えればよいか分かる
避難所	災害別利用	地震と大雨では避難所を区別して考えることが重要。
避難所	トイレ	トイレが入れない懸念がある。
避難所	備蓄	以前の水害では備蓄量が足りなかった。
避難所	備蓄	誰が管理しているのか良く分からない。
避難所	備蓄	地域の避難所になるように備蓄を増やしてほしい。
避難所	プライバシー	避難所として運営するときにはプライバシー確保のための仕切りが必要だ。
複合化	交番	交番があると良い。

②新しい学びに対応した学校

GIGA スクールの更なる活用に対する前向きな意見がみられる。

同時に、地域の人々や他文化に対面で触れる機会も必要だとの意見も出ている。

【出された意見】

教育内容	GIGA スクール	GIGA スクール導入に合わせて、全国初の公立オンライン校をやってみてはどうか。
教育内容	GIGA スクール	子供たちのプレゼン能力、コミュニケーション能力の向上に資する ICT 設備を充実させる。子供たちが調べたことを自力でいつでもどこでも発信できる環境を用意したい。
教育内容	新しい教育	子供をロボットプログラム教室に通わせたが生活に全く変化が無い。学ぶだけでなく、利用を考えるべき。
教育内容	新しい教育	新しい時代の教育とは何か、上尾市としてどこを目指すのか、それらを明確にする必要がある。
教育内容	異学年との交流	学校は楽しく学べる場所でないといけない。子供が自ら進んで取り組める学びの場になると良い。例えば、上級生が下級生の面倒を見たり勉強を教えたりできると良いのではないかな。
教育内容	オンライン授業	外国人とオンライン授業ができれば良い。
教育内容	外国語	ネイティブの先生が欲しい。

教育内容	小中一貫教育	小中一貫よりも中高一貫を考え、私立中学へ行かせる家庭が多い。
教育内容	小中一貫教育	通学距離にも配慮した小中一貫教育のあり方を示すことが重要。
教員	ICT 教育	IT 教育を教師から含めてしっかりやる。
教員	評価	教師の評価をもっとオープンに。
教員	働き方改革	建物を更新しただけではソフト面の安全・安心な環境は確保できない。教員の労働環境改善も。
教室環境	可動式の壁	可変的な間取り・レイアウトでフレキシブルに変更できる。
教室環境	教材の共有化	SDGs を進める中で、算数セットなど高学年になれば使わない教材などは、傷んで使えなくなるわけではないので、共有の教材とするのが良いと思う。さらに制服なども活用できると良いのではないか。
児童生徒	制服	
校舎・施設	自習スペース	中学校は、放課後に残って自習ができるような自習スペースがあると良い。家ではうるさくて勉強できない子もいる。
校舎・施設	地域の声の反映	地域にとって本当に必要なしつらえが何かをしっかりとヒアリングして、地域の特性、個性を反映したハード整備を行うことが大切だと思う。
シティセールス	計画の具現化	市が見据える「新しい時代」を明確にし、シティセールスにつながる市の魅力を具体化することが必要。
地域との交流	異文化体験	地域の人材活用として、外国籍の方もいるので、その国の文化や歴史を学んだり触れる機会をつくと良いのではないか。
地域との交流	地域人材の活用	地域の人から学ぶ機会を増やし、地域の人々の雇用機会とするとともに、子供たちにとっても深い学びの機会につながるのではないか。
保護者	学校からのお知らせ	生徒 1 人 1 台 PC になっているのに、学校からのお知らせは紙でくる。もっとネット活用してほしい。
保護者	授業参観	オンライン対応授業だけでなく、普段の様子も見れたらいい。
教育内容	異文化体験	語学を学ぶよりも、リアルに外国人と接する機会が必要だ。
教育内容	体験・交流	PC や語学を深めるよりも、小中学校時に様々な体験や人的交流をすることが大人になってから役に立つのではないか。

③地域に開かれた学校

学校開放や施設の複合化に前向きな意見があった。一方で児童生徒の安全性の確保が必要との意見があった。

【出された意見】

校舎・施設	学校開放	学校を複合化施設とした場合、空き教室を活用できるようにしてほしい。
校舎・施設	学校開放	子供の減少が進む地域にとっては、移住施策など外から人を呼び込むための取組も重要。人を呼び込み、空き教室等を活用できるとよい。
校舎・施設	学校開放	地区内の道路は遊びが禁止。子供が自由に遊べる場を作ることが最も大切。
校舎・施設	学校開放	地域に開くにしてもきちんとした警備が必要。
校舎・施設	学校開放	地域の人が学校に足を運ぶには駐車場が充実していることが必要だ。グラウンドを駐車場として開放している例もある。
校舎・施設	学校開放	図書スペースを地域に開放してほしい。
校舎・施設	学校開放	土日に高齢者向け PC 教室。
校舎・施設	学校開放	プールを地域に開放してほしい。
校舎・施設	学校開放	貸しスペースに。
校舎・施設	学校開放	小中学校のグラウンドを地域で使えると良い。
校舎・施設	学校開放	富士見小は、防災の災害施設に指定されていて、休日は利用不可。
校舎・施設	民間活用	温水プール、図書館、音楽室、公民館、体育館、公園など民間委託して時間を区切り解放。
セキュリティ	管理方法	学校を複合化施設とした場合、公共施設として学校長以外の施設管理者（施設長）を置き、地域への窓口になるのが望ましいと思う。
セキュリティ	安全対策	学校を全世代交流の場とするなら、教室の安全対策が必要だ。
セキュリティ	警備方法	用務員さんと警備担当の方が連携できるとよい。お金をかけずできることも考えたい。
地域との交流	学校間の差の縮小	地域に開かれた学校は良いと思うが、今は校長先生の裁量によるので、学校によって対応が異なる。そこを改善する必要があると思う。
地域との交流	具体的な内容	地域交流とは、誰が何をすることなのか。内容を具体的に示すことが必要。
地域との交流	地域人材の活用	地域のいろんな能力の人が先生になって欲しい。
地域との交流	地域人材の活用	地域の方から子供たちが学べる機会があるとよい。
地域との交流	見守り	図書館での見守りができていたのになくなった。

地域との交流	見守り	自治会と学校はあまり関係ないのでは。見守りはある。
地域との交流	—	地域活動はメンドクサイ。役職は無くしてほしい。
複合化	学童保育所	学童施設などは、新設せずに複合化できるとよい。
複合化	喫茶スペース	スーパーのイトインコーナーのようなスペースで、給食を食べられると良い。
複合化	公民館	公民館・児童館と同居で多くの人から学べる機会を。
複合化	児童館	
複合化	シティセールス	「地域」の範囲をどう考えるか。開かれる範囲を「地域」に限定しないことが、上尾市としての売りになるかもしれない。
複合化	シェアオフィス	シェアオフィスとして例えば教育関係の企業が入れば、マーケティングにつなげることも。前例がないことでも、効果があると思ったら突き進む突破力が必要だ。
複合化	シェアオフィス	シェアオフィスとして例えば教育関係の企業が入れば、マーケティングにつなげることも。前例がないことでも、効果があると思ったら突き進む突破力が必要だ。
複合化	セキュリティ	学校を複合化施設とし複数の施設が入った場合、施設管理については船頭が多くなるので、新たな管理の仕組みが必要になると思う。
複合化	セキュリティ	学校を複合化施設とした場合、学校とそれ以外の施設との動線計画やセキュリティの確保が必要だと思う。
複合化	セキュリティ	学校を複合化施設とした場合、地域の人が施設に入れるようになるので、防犯面からは子供たちを見守る目となる必要ではないか。
複合化	多目的スペース	室内の交流スペースにおもちゃや遊具があると子連れで遊びに来やすい。
複合化	多目的スペース	市の施設には高齢者が多いので、全世代が交流できる場として学校を整備し、子供に色々な交流をしてほしい。
複合化	見守り	先生の働き方改革で保護者に求めることが増えているが、保護者も働いているので対応できない。公民館、集会所などと複合化し、地域の人が気軽に学校に来られるようになると、見守りにもなると良いと思う。
複合化	予約システム	学校を複合化施設とした場合、予約システムの改善をしてほしい。現在の予約システムは使い勝手が悪い。
複合化	空間づくり	明確に区切りすぎない、互いの存在を感じられる空間のあり方。
保護者	負担軽減	民間委託により、PTA（保護者）の負担が軽減されるとよい。

④快適な学校

快適に学校を利用するための施設や設備のメンテナンスについての意見が多くあった。

また、統廃合した場合の旧校舎の利活用についても意見があった。

【出された意見】

教育内容	体力向上	コロナ禍で体育の授業が減り、子供たちの体力が落ちているので、改善できるよう体育の授業ができる教室を増やせると良いのではないかと。今の子供たちは筋肉痛を知らない。
教育内容	熱中症対策	昨今の異常気象を鑑み、屋外授業や活動などでは、日除けテントや飲み物など、熱中症対策をしっかりとしてほしい。命に関わることなので。
教員	ICT 教育	いまだにフロッピーディスク使っている状況で、ICT 活用を本当にできるのか疑問。市の IT スキルアップをしてほしい。
校舎・施設	パソコン教室	学校の設備が足りないのではないかと。パソコンルームの増設なども必要なのではないかと。
校舎・施設	空調設備	大石南小の体育館にエアコンが欲しい。
校舎・施設	維持管理	学校の看板や花壇などの設備は作りっぱなしでメンテナンスが行き届いていないので、綺麗に保ってほしい。
校舎・施設	グラウンド	子供たちは、放課後学校で遊べない。もっと自由に遊ぶ、運動する場所が必要だと思う。小中一貫でグラウンドを広くし、色々なスポーツができる場所を作り、オリンピックを目指すような子供が増えてほしい。
校舎・施設	給水機	給水機が欲しい。
校舎・施設	浄水器	水道水飲ませたくないのと、浄水器があると良いと思う。
校舎・施設	バリアフリー	エレベーターを設置しバリアフリー化することで、車椅子、松葉杖など、障害のある児童生徒へ配慮してほしい。
校舎・施設	取組	耐震やエアコン導入が進んでいるのは良い。施設は新しい方が良い。
シティセールス	市の将来像	市は、未来の「上尾」をどうしたいのか。
児童生徒	制服	服装について、今は暑くても寒くても一律同じ服装にしなければならないが、個人が感じる寒暖に応じた服を着させてほしい。
児童生徒	部活動	スポーツ等に秀でた児童生徒を、市として応援できる仕組みが強化されるとよい。
児童生徒	不登校対応	不登校の児童、生徒も安心して学べるように、彼らが行けるような場所を学校の中につくると良いと思う。
児童生徒	不登校対応	現状で不登校の児童生徒は何名ぐらいいるのか。
建物更新	快適な空間	空調設備による制御だけでなく、窓・断熱など、パッシブな快適さも意識した建築のあり方。

建物更新	建築資材	建築資材の質の向上。
建物更新	ランニングコスト	ランニングコストを意識することも大切。
地域との交流	維持管理	看板や花壇等のメンテナンスは、地域で対応しても良いのではないかと。時間のある高齢者等が地域の窓口を通じて参加できる仕組みがあると良い。
統廃合	旧校舎の活用	統廃合で廃校になった施設は、民間へ売却などせず、将来の人口増加に対応できるようにしてほしい。
統廃合	旧校舎の活用	統廃合した場合、それに伴うさまざまな費用、お金の流れをわかりやすく説明してほしい。例えば、避難所として残した場合の経費、スクールバス経費、別団体立ち上げ費など。
避難所	バリアフリー	水害対策などで体育館が上階にある学校があるが、エレベーターがないので高齢者や障害者などは階段が登れず体育館に行けない。エレベーターをつけてバリアフリー化する必要があると思う。
複合化	リサイクル拠点	ゼロカーボンと言っているのに、なぜ学校で回収できないのか。リサイクル回収の拠点にして、ゼロカーボンシティとして風通しの良い施設であってほしい。

5) 上平地区

(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」

①計画のコンセプト

不登校の児童生徒や特別支援学級への対応も計画に盛り込むべきとの意見があった。

【出された意見】

教育内容	魅力的な授業	魅力的な教育のために私立を選ぶ人が多い。それに負けない魅力づくりを。
検討の進め方	優先順位	3つの方向性についてある程度の優先順位を付けて検討が必要と考えます。
児童生徒	不登校対策	いろいろな課題やニーズにあった対応ができるよう、可変性のあるスペースを設置すべきだ。
児童生徒	不登校対策	不登校の子が安心していられるスペースが校内にあるとよい。
児童生徒	不登校対策	不登校の子が通えるフリースクールのような取り組みができる部屋が必要だ。

②計画の方向性1「教育環境の整備方針」

小中一貫教育が実施された場合の教員の指導範囲、不登校対策や特別支援学級における児童生徒への対応に関する意見があった。

【出された意見】

教育内容	学校格差	子供たちは、常にパソコンは持っていない状況。通常時のオンライン学習とはどのように行なっているのか。学校によっても対応が違うようで格差もあるように思う。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育はどのようなイメージか。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育とした時に部活などを小学校の教員も見る事となるのか。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育とした時に教員は小中両方見られるのか。今でも忙しいのに大丈夫なのか。
教育内容	日本語教育	英語教育に力を入れるのはなぜか。それも良いがまずは日本語教育ではないか。
教育内容	特別支援学級	子供の抱える課題によって支援内容によって対応を変えるべき
教育内容	特別支援学級	支援学級について保護者の相談窓口をきちんと作って欲しい

教員	負担軽減	新しい教育に対する学校の先生の負担は極力少なくしてほしい
教員	スキルアップ	ディスカッション事業は、進行する先生にも教育や慣れが必要ではないか。
児童生徒	不登校対策	校内フリースクール、カウンセラーを常駐してほしい。
児童生徒	不登校対策	不登校児にタブレットの貸出を可能にして欲しい。
児童生徒	不登校対策	小中一貫であれば、不登校対策を一層強化してほしい。
特別支援学級	設置	障害児や医療ケア児のクラスについて各学校に必要だと考えているが現状どのようになっている、どのように考えているのか。

③計画の方向性2「学校規模の適正化方針」

統廃合になった場合の、通学距離や通学方法についての関心が高い。また、児童生徒の登校に対する負担軽減のための様々な取り組みを希望する意見が出ている（中一ギャップへの対応、カウンセリングなど）。

【出された意見】

学校規模	通学区域の変更	現状でも、学区がオーバーラップしているようなところがある。それを再編してはどうか。
教育内容	小中一貫教育	中1ギャップに陥った子供を支援する仕組みが必要だ
教育内容	中一ギャップ	小中間のギャップについて、サポートが必要な子への対応はどのようにしているのか。
教員	負担軽減	説明にあった教員の負担軽減の意味や内容を知りたい。
クラス人数	中学校	中学校では35人学級を実施してほしい。
児童生徒	カウンセリング	いじめや不登校について相談できる場所があるとよいのだが、これらについてどのような対策をしているのか。
通学距離	負担軽減	教員の負担軽減を重視した結果、子供の通学距離が伸びて負担増になるのは困る。通学距離が伸びたら軽減策を講じるべきだ。
通学路	安全確保	一人で通学しても安全な通学路の環境を整えるべきだ。
統廃合	学童保育所	統廃合した場合、学童はどうなるのか。遠くならないようにしてほしい。
統廃合	通学距離	統廃合で通学距離が長くなったとき安全面の不安がある。小学校の通学距離の現在の規定は。
統廃合	通学方法	統廃合で通学距離が遠くなった場合、小学生のバス、自転車の通学は認められるのか。安全な方法で通学することが必要だ
統廃合	通学方法	統廃合で通学距離が長くなったときは、登下校の見守りセキュリティも考え、スクールバスにしてほしい。

④計画の方向性3「学校施設の更新方針」

統廃合された場合の旧校舎の利活用や学校施設の複合化についての関心が高い。

【出された意見】

学校の施設	共用化・民間施設の利用	スイミングスクール利用などはプールに入れる回数が減ってしまうのではないか。
建物更新	更新順序	施設の更新は、財政上の理由で駅前が優先され上平北小のような周辺部の学校は後回しにされるのではないかと不安がある。
建物更新	太陽光発電	太陽光発電の導入は、低周波音で具合が悪くなる子もいるので不安。
統廃合	旧校舎の活用	旧校舎はどう活用するのか。地域で使えるようになると嬉しい。
統廃合	旧校舎の活用	耐用年数の過ぎた施設や敷地はどのような扱いをするのか。
複合化	高齢者施設	ゼロベースで検討するなら、施設の複合化は児童施設だけでなく老人施設等、対象を広くとらえてよいのではないか。
複合化	多目的スペース	多世代が交流できる複合化が良い。

(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと

①安全・安心な学校

セキュリティ対策や避難所の充実に対する関心が高い。

【出された意見】

教育内容	中一ギャップ	中学校に入ると壁に当たるのでその緩和策として、事前の交流などにより風通しのよさがあると心理的に安心する。
校舎・施設	学校開放	開かれた学校には多様なセキュリティ対策が必要。
セキュリティ	防犯設備	安全面でのとりくみ、教室カメラの設置が必要。
セキュリティ	警察官の巡回	防犯やいじめ対策として、警察官が定期的に巡回するようにしてほしい。
地域との交流	見守り	閉じる防犯ではなく開く防犯を考えたい。地域の方による見守りがあれば、子供のあそび場で大勢が出入りしても安全であるし、また、それが防災対応にもつながると思う。
通学路	防犯カメラ	不審者やいじめ等への対策にカメラが必要。
避難所	機材の備蓄	災害時の電気、水の確保ができるよう、自家発電機やソーラーシステム、水の備蓄などの場所を確保しておく必要があると思う。また、そこまで車が入れるよう道幅を確保することも必要になると思う。
避難所	備蓄	避難所として活用できるよう備蓄はしっかりしてほしい。
避難所	情報提供	また、災害時の情報提供の場にもなってほしい。
避難所	情報提供	子供が小学校と中学校に通っているが、災害時の連絡や対応方法がバラバラである。小中で連携をとるようにしてほしい。
避難所	水害時	水害への対応がまだ不十分。
避難所	設備	体育館などは災害時に避難所として使える設備を備えてほしい。
避難所	設備	避難所。発電機などの防災対策。
避難所	マンホールトイレ	避難所として必須のマンホールトイレ等を十分に整備してほしい。
避難所	機能強化	災害は地震だけでなく、水害などもある。避難所機能を強化して、どんな災害にも対応できる学校にする必要があるのではないか。
複合化	学童保育所	学童が学校から離れていると、放課後に学童まで行く途中の安全性が気になる。学校の敷地内に学童を設置してほしい。
複合化	セキュリティ	開かれた学校には多様なセキュリティ対策が必要。

②新しい学びに対応した学校

校則やオンライン授業、教室の空間づくりなど、児童生徒の多様性に対応ができる教育の環境づくりに対する意見が多くあった。

【出された意見】

教育内容	校則	中学校の校則を時代にあったものに見直してほしい。なぜ。と思うような項目がある。もっと柔軟に多様性を許容する校則であってほしい。
教育内容	校則	校則は要らぬトラブルを避けるためにも無難な色など決めておくのが良いと思う。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫教育の中で、外部講師を入れた小学校からの部活を行い、小中を合わせたコミュニケーションが取れると良いのではないか。
教育内容	中一ギャップ	小中での先生の文化の違いは大きい。不登校を出さないためにも、中一ギャップに対応できるように先生にも対応してほしいし、カウンセラーなども配置してほしい。
児童生徒	カウンセラー	
教室環境	可動式の壁	教室の壁は可変式で学級の規模や活動内容により変更できるとよい。
校舎・施設	学校開放	子供たちが自由に、放課後にも学べたり、遊べる環境があると良いと思う。
児童生徒	学習者用端末	視力低下対策等。
児童生徒	不登校対応	不登校の子でも登校しやすいスペースを作る。
児童生徒	不登校対応	普通教室から死角になる場所に、不登校の子でも登校しやすいスペースを作る。
教育内容	オンライン授業	オンラインで多様なカリキュラムを行うべき。
教育内容	オンライン授業	オンラインで学外交流を行うべき。
教育内容	個別最適な学び	個別最適な学びには、ハード面の余裕+ソフトが必要だと思う。ゆっくりやればできる子もいるので、そういった子供にも対応できる余裕のある学校であってほしい。

③地域に開かれた学校

放課後の子供の遊び場や居場所などであると同時に、地域の人々が集まれる場を形成したいという意向から、施設の民間委託などのアイデアに関する意見があった。

【出された意見】

校舎・施設	学校開放	学校の敷地内が公園のようなスペースであるとよい。
校舎・施設	学校開放	在校生だけでなく誰もが使える校庭としてほしい。
校舎・施設	学校開放	子供が放課後安心して遊べるスペースが建物内にあるとよい。
校舎・施設	樹木の維持管理	学校の樹木は適切に剪定されていないことが多いので、樹木の維持管理が必要だ。
校舎・施設	民間活用	貸し出すことで、施設の管理コストを民間に肩代わりしてもらおう。
校舎・施設	民間活用	学校のプールや体育館を民間に貸し出す。
児童生徒	不登校対応	子供を見ていると、今の学校は詰めすぎで余裕がないと感じる。もっと民間や地域の方と協働できるような余白のある学校施設になってほしい。
地域との交流	協働	校内フリースクールのような不登校の子もいける居場所をつくってほしい。
複合化	学童保育所	複合化施設に学童保育が一緒に入ると、学校が終わってもそのまま居ることができ移動がなく安心だし、学童でない友達とも遊べ流ので、ぜひそうしてほしい。
複合化	拠点施設	これまで学校は近くにあっても入れないので遠い存在だった。複合化施設になることで、いつでも入れる空間、利用できる場所になり、学校が身近な存在になると思う。
複合化	拠点施設	予算もあると思うが、図書館、公民館、学童、地域交流などの複合施設で効率的で地域活動においてもハブとなるような建物を考えられたら良いと思う。
複合化	拠点施設	学童や保育園、老人施設など、あらゆる世代が関われる施設を併設し、地域内の多様な人が来訪する交流の場であると良い
複合化	交流スペース	複合化施設になることで、学校と地域との交流ができる場所になると良いのではないかと。
複合化	高齢者施設	複合化施設になることで、入る施設によって高齢化への対応もできると思う。
複合化	支所	複合化施設に支所機能が入ると地域としては嬉しい。
複合化	集会所	複合化施設になることで、地域の集会所として使えると嬉しい。
複合化	セキュリティ	複合化施設になることで、プライバシーへの配慮は必要になると思う。
複合化	多目的スペース	地域住民が利用できる施設があるとよい
複合化	図書館	学校の図書館で市立図書館の本が貸出できる等。

④快適な学校

内装の木材利用やオープンスペース、空調設備など教育環境づくりに対する意見があった。

【出された意見】

教育内容	登下校時間	通学時に酷暑となるので、酷暑下での通学にならないよう、登下校時間に配慮してほしい。
教室環境	可動式の壁	旧耐震基準の校舎でも改修で有効活用し、中央小、富士見小のようにオープンな教室にして教室を密室にしないようにできると良いと思う。
教室環境	木質化	室内の木質化で温かみのある教室になると良いと思う。その際の木材は県産材に目を向けてほしい。
校舎・施設	網戸	学校に網戸がないので虫刺されに悩まされている。虫に刺されず気持ちよく過ごせる教室にしてほしい。
校舎・施設	空調設備	現在は非常に気温が高い日もあり、熱中症がおきることもあるので、空調設備が充実してよかったと思う。
校舎・施設	施設の一体	全ての施設を一つの校舎に集中して移動距離を短く。
建物更新	木質化	学校が汚く、病院風で登校するだけで気が滅入るので、内装に木材を使うなど、温かみのある雰囲気を作ってほしい。
教育内容	オープンスペース	ハードを変えるならソフトも変える必要があると思う。オープン教室にするなら、これまでの教室型をそのまま行くと不都合も出ているので、オープンスペースでもできる授業を考えることが必要だと思う。

6) 大谷地区

(1) 問いかけ①「骨子案の内容について」

①計画のコンセプト

人口増加策や地域振興策の必要性について意見があった。

【出された意見】

計画の見直し方針	コスト削減	複合化による削減コストはどのくらいか。
シティセールス	人口増加施策	そもそも人口が減少するのが問題なのだからそれに対応するべき。
シティセールス	地域振興	地域の活性化や多様な交流を促進させることが大前提。
地域との交流	イベント・祭り	

②計画の方向性1「教育環境の整備方針」

小中一貫校教育に対する理解の不足やGIGAスクールに対する課題について意見があった。

【出された意見】

アンケート	小中一貫教育	小中一貫教育と小中一貫校とを混同させない説明が必要。
教育内容	GIGAスクール	コロナ禍でタブレット学習が主流になり、コミュニケーションが取れない子供が増えるのではないか。
教育内容	社会性教育	登校機会が減少することで子供の社会性教育はどのように育むのか。
教育内容	小中一貫教育	小中一貫より中高一貫のほうが良い。
教室環境	普通教室	子供の身体を考えて備品等を選ぶ必要がある。
検討の進め方	合意形成	一定数いる反対派をどう説得するのか。
シティセールス	地域振興	地域から学校がなくなってしまうのではという不安は大きい。
児童生徒	不登校対策	不登校児の居場所が必要だ。
複合化	セキュリティ	施設の共用（複合化）は安全面が心配。

③計画の方向性2「学校規模の適正化方針」

少人数学級や通学距離の重要性についての意見があった。

【出された意見】

学校規模	学級数	適正な規模 12～18 学級の根拠には、補助金に関する法律があることを明記すべき。
学校規模	学級数	法令の標準規模には、「地域の実態を踏まえて」というただし書きがあることもきちんと伝えてもらいたい。
クラス人数	経済負担	少人数学級の実現により学校が増えるとなると、経済的な面が気になる。
クラス人数	少人数学級	学校が増えると教員確保も困難になる。
クラス人数	アンケート	「教員の眼が行き届きやすい」は、クラスよりクラス人数が大事。なぜ人数に対してのアンケートがないのか。フェアではない。
教育内容	少人数学級	「個別最適」と「主体的・対話的で深い学び」には、少人数学級の実現が必要。
教育内容	小中一貫教育	なぜ小中一貫教育にこだわるのか。
教育内容	小中一貫教育	中学生で不登校になってもその後高校過程に進んで学校に復帰できる可能性があるので、中高一貫教育の方が良い。
学校の立地	地域事情の反映	学校の再編には、人口だけでなく、地域性を踏まえたものにするべき。
通学距離	—	登校距離が最も重要である。
統廃合	通学距離	学校の再編には、距離を考慮するべき。
統廃合	通学方法	小中一貫校になった場合、中学生は自転車通学ができるのか。
避難所	地域の役割	学校の再編には、地域における学校の役割を重視するべき。
複合化	—	学校を含めた複合施設化を進めるべき。

④計画の方向性3「学校施設の更新方針」

プール等の学校施設の共用・民間利用については、民間と自校の両方の意見が出ている。

【出された意見】

学校の施設	共用化・民間施設の利用	民間プール利用のほうが良い。
校舎・施設	プール	市民プールなど子供が自由に泳げる場所がほしい。
計画の見直し方針	更新手順	優先順位を明確にする（老朽化）。
計画の見直し方針	コスト削減	施設の更新計画はトータルコストから検討することが大事。また、詳細な情報提供も行ってもらいたい。

計画の見直し方針	優先順位	学校施設の更新に当たって、箱モノを優先的に考えることに違和感がある。
建物更新	計画的な推進	施設の更新はギリギリになるまでではなく、計画的に進めるほうが効率的。
建物更新	脱炭素化	エアコンの設置と脱炭素化はまったく別文脈の話。

⑤その他

学校のコロナ対策に対する懸念が出された。

【出された意見】

教育内容	コロナ対策	コロナ禍において、これまで行ってきた学校行事をどのように続けていけるのかが気になっている。
給食	コロナ対策	給食の黙食が子供に与える影響が気になっている。
検討の進め方	情報提供	受け手にきちんと伝わるような情報公開をすべきだ。
検討の進め方	情報提供	これまでの議論の経緯を説明すべきだ。
検討の進め方	情報提供	結果は後で良いので、経緯の説明が必要だ。
検討の進め方	情報提供	反対意見を減らすためには結論は先に出さない方が良い。
検討の進め方	方向性	着地点を定めて目標に向かうべきだ。
市民ワークショップ	参加人数	参加者数が少なすぎる。
市民ワークショップ	参加方法	参加方法を工夫すべきだ。
市民ワークショップ	参加方法	会をネットで参加できるようにする。

(2) 問いかけ②「新しい時代の学びに相応しい学校づくり」に必要なこと

①安全・安心な学校

通学距離や通学手段、通学路の登下校中の安全性、避難所の充実に関する意見があった。

また、児童生徒の更衣室の整備やバリアフリーについての意見もあった。

【出された意見】

校舎・施設	更衣室	更衣室整備。
校舎・施設	バリアフリー	バリアフリーでいろいろな子供に対応できる学校。
通学距離	安全安心	安全、安心は、通学距離、遠いと不安。1.5k以内くらいが良い。遠いと保護者も不安。
通学距離	—	無理なく子供が通える距離で。
通学手段	公共バス	市内循環バスの本数が少なくて不便だ。
通学手段	スクールバス	学校は小学生が安全委通える距離にあるべきで、遠い場合はスクールバスの検討が必要ではないか。
通学手段	スクールバス	バス通学（ただ徒歩通学の重要性も捨てがたい…）。
通学手段	自転車	何 km の距離だと自転車通学が許可されるのか。
通学手段	徒歩	子供の健康には徒歩。
通学路	安全性の確保	大きな道路やふみきり考慮（通学路）。
通学路	安全性の確保	通学路の安全面。
通学路	セキュリティ	防犯のために、交番やパトロールの充実。
通学路	見守り	負担とならないはたふり当番のあり方の検討。
避難所	学校施設	建物が大規模化・高層化してしまうと、地震時の避難施設として有用なのかは気になるところ。
避難所	設備	地震時、水害時で分かれるので特化して施設、設備を。（シャワールーム、地域連携、自主防災）
避難所	設備	あらゆる災害（地震、水害等）対策にも備えておくことが大事だ。
避難所	設備	避難所として開設すると長期間になる事が予想されるので、生活にある程度必要なものを揃えては、シャワールーム etc.
避難所	水害時	水害の際に拠点となる避難所は、市内各地に必要。
避難所	スペース	避難所の環境（1人あたり面積など）。

②新しい学びに対応した学校

GIGA スクール以外の、子供の体験や経験につながる学習が必要との意見が見られた。

また、教室の備品の充実、他クラスや他学年の児童生徒との交流の場所や機会への希望についての意見があった。

【出された意見】

教育内容	GIGA スクール	GIGA スクール以外の内容も考えるべきではないか
教育内容	GIGA スクール	デジタル人材の育成が必要だ。
教育内容	GIGA スクール	他世界、他地域との交流 zoom など。
教育内容	新しい教育	給食づくりの経験を授業に盛り込んでほしい。
教育内容	新しい教育	子供が主体となって行事を作り上げる経験ができるが良い。
教育内容	新しい学び	新しい学びはデジタル化のことではない。
教育内容	英語教育	英語ネイティブと日常的に会話ができる環境が必要ではないか。
教育内容	課外授業	外部指導者を受け入れる環境。
複合化	起業支援	
教育内容	コミュニティスクール	幼稚園から高校までが連携して地域全体のコミュニティスクールがあると良い。
教育内容	—	共育、共生、協働、人材、他者尊重、自己を大切にすることが学校教育では必要ではないか。
教育内容	—	問題解決能力の育成・教育。
教員	補助員	教室には担任の他に補助員が必要だ。
教室環境	ゆとり	少人数学級で解放感のある場所で授業をしてはどうか。
教室環境	可変性のある作り	長期的スパンを見据えた多目的利用に考慮された施設づくり。
教室環境	可変性のある作り	多目的に対応、柔軟性がある（可変）、壁が動かせる施設。
教室環境	特別教室	子供が自由に IT や最新技術に触れられる環境。
教室環境	備品	机やイスなどの備品は子供の体の成長に合わせたものを選んでほしい。
教室環境	備品	本当に必要なものかどうか疑問をもつことが必要だ。
教室環境	備品	子供の成長に必要なものと不必要なものを見極めてほしい。
教室環境	学習机	机が小さくて PC とノートを広げるのが困難なので、大きい机が必要だ。
教室環境	学習机	タブレットを置くスペース等を確保するため、複数人で 1 つの大きな机を使うようにしても良いのではないかな。
教室環境	普通教室	黒板ではなく、ホワイトボードやスクリーン形式で板書をして良いのではないかな。
教室環境	普通教室	PC 含めた IT 施設の充実。

教室環境	普通教室	3Dプリンターなど最新のITを利用できる環境整備。
教室環境	普通教室	教室内が自由な配置、机、イス、等。
教室環境	普通教室	ランドセルや机、イス、体育座りなど子供にとって必要なものと不必要なものを判断した方がよい。
クラスの人数	少人数	教師の目の行き届くクラス人数（少人数）。
校舎・施設	通信環境	Wi-Fi環境を充実させてほしい。
校舎・施設	交流スペース	子供が他クラスの子と交流できる。
校舎・施設	交流スペース	解放感、ベンチ、扉なし、オープン。
校舎・施設	多目的スペース	各階に多目的スペース。
児童生徒	他学年との交流	他学年との交流ができる機会があるとよい。トランプなどのカードゲームや校庭でドッチボール、鬼ごっこなど。

③地域に開かれた学校

学校開放や他の施設との複合化については、肯定的な意見があった。

地域との交流についても肯定的で、多様なアイデアがあった。特に部活動についての地域資源の活用や地域との交流の意見があった。

地域における子供の居場所と不登校対策についても意見があった。

【出された意見】

教育内容	新しい教育	地域の人も交流できる畑づくり。
教育内容	部活動	部活等と地域活動を組み合わせることで人材の確保や先生・保護者の負担軽減になる。
教育内容	部活動	部活動を外部委託することで、保護者の負担が軽減される。
計画の見直し方針	他自治体事例	他自治体の事例を参考に良い所は取り入れてほしい。
校舎・施設	学校開放	開かれた学校は防犯上の課題がある。
校舎・施設	学校開放	学校を開放しても良いが子供の安全を確保することが大事だ。
校舎・施設	学校開放	地域団体などに開放することで学校の安全性はどう確保するのか。
校舎・施設	学校開放	チャレンジスクールなどを開いて、地域で学校施設を活用した方がよい。
校舎・施設	学校開放	習い事の間として学校を使えそうだ。
校舎・施設	学校開放	習い事の間として学校を使うには、コーディネーターが必要だ。
校舎・施設	学校開放	やりたいことを支援する場として学校を使うには、コーディネーターが必要だ。
校舎・施設	学校開放	習い事の間として学校を使うには、管理をビジネス化する必要がある。

校舎・施設	学校開放	母親学級やリタイアした高齢者の学びの場として学校を使えると良い。
校舎・施設	学校開放	行政だけでなく外部の力も活用していくことが必要だ。
校舎・施設	学校開放	住民スポーツ、健康維持に出来る場。
児童生徒	部活動	部活動を地域内の外部に委託することで、子供の居場所が増えることになる。
児童生徒	不登校対応	不登校の子が安心して通える場所。
児童生徒	不登校対応	専門家・にげこみ寺。
児童生徒	不登校対応	保護者・支援者も参加できる場所。
児童生徒	不登校対応	挫折しても OK と伝えたい。
地域との交流	お祭り	地域の交流としてお祭り・お囃子の担い手を学校に求めてはどうか。
地域との交流	学校運営協議会	協議会は実用的にならないとダメ。
地域との交流	一時受け入れ	地域にホーム・ステイに来る子の学校受け入れをしてはどうか。
地域との交流	協働活動の場	地域の人と協働活動できる場。
地域との交流	人材の活用	高齢者の知恵や技術を伝える場として学校を使うのはどうか。
地域との交流	人材の活用	部活動を地域内の外部に委託することで、地域内の人材の雇用を含めた活用につながる。
地域との交流	ターゲット	地域に開かれた学校は誰を対象としているのか。目的を明確にしてから場を作るべきだ。
地域との交流	デメリット	開かれることによるデメリットもある。
地域との交流	畑づくり	地域の人も交流できる畑づくり。
地域との交流	施設利用	地域の集いの場として学校を活用したことがない。
地域との交流	施設利用	住民も使いやすく。
通学手段	スクールバス	子供を取り巻く事件が増えているのが心配だ。スクールバスを増やすなど子供の安全を確保してほしい。
複合化	居場所	高齢者・留学生の居場所を設けてほしい。
複合化	支所	開かれた学校、市役所、図書館、公民館などの複合。
複合化	図書館	
複合化	公民館	
複合化	高齢者施設	高齢者施設との複合化で交流を増やす。
複合化	相談室	市よろず相談室の設置。
複合化	スポーツ施設	スポーツ施設との複合化もよい。
複合化	多目的スペース	ダンスが自由にできる場所を設けてほしい。
複合化	多目的スペース	音楽活動が自由にできる場所を設けてほしい。
複合化	多目的スペース	地域住民が利用できる場所を設けてほしい。

複合化	社会教育機能	社会教育機能が具体的に何を示しているのかが分からない。
複合化	利用しやすさ	何かのついでに立ち寄れるといいな 子供の様子が見られる。
計画の見直し方針	用語	「地域」という言葉の意味を考えてから使った方が良い。
その他	児童館	児童館こどもの城は毎日利用している。

④快適な学校

更新手順の考え方や自校式の給食の必要性の意見があった。

【出された意見】

教育内容	水泳授業	プールは民間委託よりも自校にあるほうが授業の回数が増えるはずだ。
教室環境	空調設備	特別教室にもエアコンを。
計画の見直し方針	運営事例	幼稚園や大学私立運営の上手く運用できているものをモデルにしても良いのでは。
校舎・施設	トイレ	生理用品を学校のトイレに設置し、生理の貧困にも対応できているので、継続してほしい。
給食	提供方式	自校給食の継続。
給食	提供方式	自校給食の継続が学校選択のポイントになるのではないかな。
給食	提供方式	自校給食であれば食育もできる。
建物更新	更新手順	一斉に建てかえるのではなく順次建替。(圏央道の開通、第2産業道路の延伸で、戸建てが増え、人口増。)

⑤その他

学校の実態に合わせた取組や各学校での施設管理の対応の違いについて意見があった。

【出された意見】

計画の見直し方針	学校事情への配慮	学校の実態に合わせた取組が必要だ。
校舎・施設	管理方法	学校施設の管理等は校長先生によって対応が異なるのが実態だ。